

欧米のジャーナリズム関連イベントでは、セキュリティに関する講義が必ず開かれるようになっていく。何が変わったのか？

1. **Wikileaks/Panama Papers**：メガ・リークの時代の到来
2. **Snowden事件**：大量監視（mass surveillance）社会の到来
3. **リーク報道に対する捜査**：情報提供者と記者の保護の必要性

記者にとっての課題は3つあります。

1. **自分を守るため**：会社や取材先の情報を漏らしたりして、失職しない
2. **情報提供者を守るため**：決死の正義感で告発し、自分を信頼した人を絶対に守る
3. **不可能だったことを可能にするため**：完全匿名通信や巨大データの取得が可能になる

法律論・制度論を語ることが無意味だとは言わないが、現実を否定することはできない。

1. **通信の全量保存体制**：過去に遡ってすべてを検索できる
2. **行政府の電子化**：メール・庁舎出入り記録・監視カメラ（調査に令状不要）
3. **ビッグデータ社会**：車の通過記録（Nシステム、高速料金所）、CCTV画像など

報道固有の問題：「語るに落ちる」危険性

1. **写真**：撮影時間、場所などが分かる恐れ
2. **電子透かし**：追跡用透かしがある可能性
3. **Hoax（騙すための文書）**：信用失墜、メディア批評、実力試しの標的

Threat Modeling：国内の情報漏えい事故（2018年）は490件。すべての脅威を退ける魔法の杖はない。平場の取材しかしない記者と調査報道をする記者の課題は同じではない。**誰から何を守るのか**を想定して、対策を決める必要がある。

あくまでも基本的な対策として...

- すでにウイルスに感染していないか？
- 記者用パソコンの紛失・盗難対策
- 出張先でパソコン・携帯のupdateの禁止
- 仕事関係の連絡はできる限りSignal
- 取材でLINEやTwitter/Instagramは必要
- ただし、裏アカは原則的として禁止
- スマホの内部データアクセス権限の再確認
- iCloudで電話帳の同期は禁止・データ削除
- パスワード管理の見直し（アプリの活用など）
- 組織として定期的な研修

欧米のジャーナリズム関連イベントでは、セキュリティに関する講義が必ず開かれるようになっていく。何が変わったのか？

1. **Wikileaks/Panama Papers**：メガ・リークの時代の到来
2. **Snowden事件**：大量監視（mass surveillance）社会の到来
3. **リーク報道に対する捜査**：情報提供者と記者の保護の必要性

記者にとっての課題は3つあります。

1. **自分を守るため**：会社や取材先の情報を漏らしたりして、失職しない
2. **情報提供者を守るため**：決死の正義感で告発し、自分を信頼した人を絶対に守る
3. **不可能だったことを可能にするため**：完全匿名通信や巨大データの取得が可能になる

法律論・制度論を語ることが無意味だとは言わないが、現実を否定することはできない。

1. **通信の全量保存体制**：過去に遡ってすべてを検索できる
2. **行政府の電子化**：メール・庁舎出入り記録・監視カメラ（調査に令状不要）
3. **ビッグデータ社会**：車の通過記録（Nシステム、高速料金所）、CCTV画像など

報道固有の問題：「語るに落ちる」危険性

1. **写真**：撮影時間、場所などが分かる恐れ
2. **電子透かし**：追跡用透かしがある可能性
3. **Hoax（騙すための文書）**：信用失墜、メディア批評、実力試しの標的

Threat Modeling：国内の情報漏えい事故（2018年）は467件。すべての脅威を退ける魔法の杖はない。平場の取材しかしない記者と調査報道をする記者の課題は同じではない。**誰から何を守るのか**を想定して、対策を決める必要がある。

あくまでも基本的な対策として...

- すでにウイルスに感染していないか？
- 記者用パソコンの紛失・盗難対策
- 出張先でパソコン・携帯のupdateの禁止
- 仕事関係の連絡はできる限りSignal
- 取材でLINEやTwitter/Instagramは必要
- ただし、裏アカは原則的として禁止
- スマホの内部データアクセス権限の再確認
- iCloudで電話帳の同期は禁止・データ削除
- パスワード管理の見直し（アプリの活用など）
- 組織として定期的な研修

欧米のジャーナリズム関連イベントでは、セキュリティに関する講義が必ず開かれるようになっていく。何が変わったのか？

1. **Wikileaks/Panama Papers**：メガ・リークの時代の到来
2. **Snowden事件**：大量監視（mass surveillance）社会の到来
3. **リーク報道に対する捜査**：情報提供者と記者の保護の必要性

記者にとっての課題は3つあります。

1. **自分を守るため**：会社や取材先の情報を漏らしたりして、失職しない
2. **情報提供者を守るため**：決死の正義感で告発し、自分を信頼した人を絶対に守る
3. **不可能だったことを可能にするため**：完全匿名通信や巨大データの取得が可能になる

法律論・制度論を語ることが無意味だとは言わないが、現実を否定することはできない。

1. **通信の全量保存体制**：過去に遡ってすべてを検索できる
2. **行政府の電子化**：メール・庁舎出入り記録・監視カメラ（調査に令状不要）
3. **ビッグデータ社会**：車の通過記録（Nシステム、高速料金所）、CCTV画像など

報道固有の問題：「語るに落ちる」危険性

1. **写真**：撮影時間、場所などが分かる恐れ
2. **電子透かし**：追跡用透かしがある可能性
3. **Hoax（騙すための文書）**：信用失墜、メディア批評、実力試しの標的

Threat Modeling：国内の情報漏えい事故（2018年）は415件。すべての脅威を退ける魔法の杖はない。平場の取材しかしない記者と調査報道をする記者の課題は同じではない。**誰から何を守るのか**を想定して、対策を決める必要がある。

あくまでも基本的な対策として...

- すでにウイルスに感染していないか？
- 記者用パソコンの紛失・盗難対策
- 出張先でパソコン・携帯のupdateの禁止
- 仕事関係の連絡はできる限りSignal
- 取材でLINEやTwitter/Instagramは必要
- ただし、裏アカは原則的として禁止
- スマホの内部データアクセス権限の再確認
- iCloudで電話帳の同期は禁止・データ削除
- パスワード管理の見直し（アプリの活用など）
- 組織として定期的な研修

欧米のジャーナリズム関連イベントでは、セキュリティに関する講義が必ず開かれるようになっていく。何が変わったのか？

1. **Wikileaks/Panama Papers**：メガ・リークの時代の到来
2. **Snowden事件**：大量監視（mass surveillance）社会の到来
3. **リーク報道に対する捜査**：情報提供者と記者の保護の必要性

記者にとっての課題は3つあります。

1. **自分を守るため**：会社や取材先の情報を漏らしたりして、失職しない
2. **情報提供者を守るため**：決死の正義感で告発し、自分を信頼した人を絶対を守る
3. **不可能だったことを可能にするため**：完全匿名通信や巨大データの取得が可能になる

法律論・制度論を語ることが無意味だとは言わないが、現実を否定することはできない。

1. **通信の全量保存体制**：過去に遡ってすべてを検索できる
2. **行政府の電子化**：メール・庁舎出入り記録・監視カメラ（調査に令状不要）
3. **ビッグデータ社会**：車の通過記録（Nシステム、高速料金所）、CCTV画像など

報道固有の問題：「語るに落ちる」危険性

1. **写真**：撮影時間、場所などが分かる恐れ
2. **電子透かし**：追跡用透かしがある可能性
3. **Hoax（騙すための文書）**：信用失墜、メディア批評、実力試しの標的

Threat Modeling：国内の情報漏えい事故（2018年）は417件。すべての脅威を退ける魔法の杖はない。平場の取材しかしない記者と調査報道をする記者の課題は同じではない。**誰から何を守るのか**を想定して、対策を決める必要がある。

あくまでも基本的な対策として...

- すでにウイルスに感染していないか？
- 記者用パソコンの紛失・盗難対策
- 出張先でパソコン・携帯のupdateの禁止
- 仕事関係の連絡はできる限りSignal
- 取材でLINEやTwitter/Instagramは必要
- ただし、裏アカは原則的として禁止
- スマホの内部データアクセス権限の再確認
- iCloudで電話帳の同期は禁止・データ削除
- パスワード管理の見直し（アプリの活用など）
- 組織として定期的な研修

欧米のジャーナリズム関連イベントでは、セキュリティに関する講義が必ず開かれるようになっていく。何が変わったのか？

1. **Wikileaks/Panama Papers**：メガ・リークの時代の到来
2. **Snowden事件**：大量監視（mass surveillance）社会の到来
3. **リーク報道に対する捜査**：情報提供者と記者の保護の必要性

記者にとっての課題は3つあります。

1. **自分を守るため**：会社や取材先の情報を漏らしたりして、失職しない
2. **情報提供者を守るため**：決死の正義感で告発し、自分を信頼した人を絶対に守る
3. **不可能だったことを可能にするため**：完全匿名通信や巨大データの取得が可能になる

法律論・制度論を語ることが無意味だとは言わないが、現実を否定することはできない。

1. **通信の全量保存体制**：過去に遡ってすべてを検索できる
2. **行政府の電子化**：メール・庁舎出入り記録・監視カメラ（調査に令状不要）
3. **ビッグデータ社会**：車の通過記録（Nシステム、高速料金所）、CCTV画像など

報道固有の問題：「語るに落ちる」危険性

1. **写真**：撮影時間、場所などが分かる恐れ
2. **電子透かし**：追跡用透かしがある可能性
3. **Hoax（騙すための文書）**：信用失墜、メディア批評、実力試しの標的

Threat Modeling：国内の情報漏えい事故（2018年）は449件。すべての脅威を退ける魔法の杖はない。平場の取材しかしない記者と調査報道をする記者の課題は同じではない。**誰から何を守るのか**を想定して、対策を決める必要がある。

あくまでも基本的な対策として...

- すでにウイルスに感染していないか？
- 記者用パソコンの紛失・盗難対策
- 出張先でパソコン・携帯のupdateの禁止
- 仕事関係の連絡はできる限りSignal
- 取材でLINEやTwitter/Instagramは必要
- ただし、裏アカは原則的として禁止
- スマホの内部データアクセス権限の再確認
- iCloudで電話帳の同期は禁止・データ削除
- パスワード管理の見直し（アプリの活用など）
- 組織として定期的な研修

欧米のジャーナリズム関連イベントでは、セキュリティに関する講義が必ず開かれるようになっていく。何が変わったのか？

1. **Wikileaks/Panama Papers**：メガ・リークの時代の到来
2. **Snowden事件**：大量監視（mass surveillance）社会の到来
3. **リーク報道に対する捜査**：情報提供者と記者の保護の必要性

記者にとっての課題は3つあります。

1. **自分を守るため**：会社や取材先の情報を漏らしたりして、失職しない
2. **情報提供者を守るため**：決死の正義感で告発し、自分を信頼した人を絶対を守る
3. **不可能だったことを可能にするため**：完全匿名通信や巨大データの取得が可能になる

法律論・制度論を語ることが無意味だとは言わないが、現実を否定することはできない。

1. **通信の全量保存体制**：過去に遡ってすべてを検索できる
2. **行政府の電子化**：メール・庁舎出入り記録・監視カメラ（調査に令状不要）
3. **ビッグデータ社会**：車の通過記録（Nシステム、高速料金所）、CCTV画像など

報道固有の問題：「語るに落ちる」危険性

1. **写真**：撮影時間、場所などが分かる恐れ
2. **電子透かし**：追跡用透かしがある可能性
3. **Hoax（騙すための文書）**：信用失墜、メディア批評、実力試しの標的

Threat Modeling：国内の情報漏えい事故（2018年）は452件。すべての脅威を退ける魔法の杖はない。平場の取材しかしない記者と調査報道をする記者の課題は同じではない。**誰から何を守るのか**を想定して、対策を決める必要がある。

あくまでも基本的な対策として...

- すでにウイルスに感染していないか？
- 記者用パソコンの紛失・盗難対策
- 出張先でパソコン・携帯のupdateの禁止
- 仕事関係の連絡はできる限りSignal
- 取材でLINEやTwitter/Instagramは必要
- ただし、裏アカは原則的として禁止
- スマホの内部データアクセス権限の再確認
- iCloudで電話帳の同期は禁止・データ削除
- パスワード管理の見直し（アプリの活用など）
- 組織として定期的な研修

欧米のジャーナリズム関連イベントでは、セキュリティに関する講義が必ず開かれるようになっていく。何が変わったのか？

1. **Wikileaks/Panama Papers**：メガ・リークの時代の到来
2. **Snowden事件**：大量監視（mass surveillance）社会の到来
3. **リーク報道に対する捜査**：情報提供者と記者の保護の必要性

記者にとっての課題は3つあります。

1. **自分を守るため**：会社や取材先の情報を漏らしたりして、失職しない
2. **情報提供者を守るため**：決死の正義感で告発し、自分を信頼した人を絶対に守る
3. **不可能だったことを可能にするため**：完全匿名通信や巨大データの取得が可能になる

法律論・制度論を語ることが無意味だとは言わないが、現実を否定することはできない。

1. **通信の全量保存体制**：過去に遡ってすべてを検索できる
2. **行政府の電子化**：メール・庁舎出入り記録・監視カメラ（調査に令状不要）
3. **ビッグデータ社会**：車の通過記録（Nシステム、高速料金所）、CCTV画像など

報道固有の問題：「語るに落ちる」危険性

1. **写真**：撮影時間、場所などが分かる恐れ
2. **電子透かし**：追跡用透かしがある可能性
3. **Hoax（騙すための文書）**：信用失墜、メディア批評、実力試しの標的

Threat Modeling：国内の情報漏えい事故（2018年）は425件。すべての脅威を退ける魔法の杖はない。平場の取材しかしない記者と調査報道をする記者の課題は同じではない。**誰から何を守るのか**を想定して、対策を決める必要がある。

あくまでも基本的な対策として...

- すでにウイルスに感染していないか？
- 記者用パソコンの紛失・盗難対策
- 出張先でパソコン・携帯のupdateの禁止
- 仕事関係の連絡はできる限りSignal
- 取材でLINEやTwitter/Instagramは必要
- ただし、裏アカは原則的として禁止
- スマホの内部データアクセス権限の再確認
- iCloudで電話帳の同期は禁止・データ削除
- パスワード管理の見直し（アプリの活用など）
- 組織として定期的な研修

欧米のジャーナリズム関連イベントでは、セキュリティに関する講義が必ず開かれるようになっていく。何が変わったのか？

1. **Wikileaks/Panama Papers**：メガ・リークの時代の到来
2. **Snowden事件**：大量監視（mass surveillance）社会の到来
3. **リーク報道に対する捜査**：情報提供者と記者の保護の必要性

記者にとっての課題は3つあります。

1. **自分を守るため**：会社や取材先の情報を漏らしたりして、失職しない
2. **情報提供者を守るため**：決死の正義感で告発し、自分を信頼した人を絶対に守る
3. **不可能だったことを可能にするため**：完全匿名通信や巨大データの取得が可能になる

法律論・制度論を語ることが無意味だとは言わないが、現実を否定することはできない。

1. **通信の全量保存体制**：過去に遡ってすべてを検索できる
2. **行政府の電子化**：メール・庁舎出入り記録・監視カメラ（調査に令状不要）
3. **ビッグデータ社会**：車の通過記録（Nシステム、高速料金所）、CCTV画像など

報道固有の問題：「語るに落ちる」危険性

1. **写真**：撮影時間、場所などが分かる恐れ
2. **電子透かし**：追跡用透かしがある可能性
3. **Hoax（騙すための文書）**：信用失墜、メディア批評、実力試しの標的

Threat Modeling：国内の情報漏えい事故（2018年）は450件。すべての脅威を退ける魔法の杖はない。平場の取材しかしない記者と調査報道をする記者の課題は同じではない。**誰から何を守るのか**を想定して、対策を決める必要がある。

あくまでも基本的な対策として...

- すでにウイルスに感染していないか？
- 記者用パソコンの紛失・盗難対策
- 出張先でパソコン・携帯のupdateの禁止
- 仕事関係の連絡はできる限りSignal
- 取材でLINEやTwitter/Instagramは必要
- ただし、裏アカは原則的として禁止
- スマホの内部データアクセス権限の再確認
- iCloudで電話帳の同期は禁止・データ削除
- パスワード管理の見直し（アプリの活用など）
- 組織として定期的な研修



欧米のジャーナリズム関連イベントでは、セキュリティに関する講義が必ず開かれるようになっていく。何が変わったのか？

1. **Wikileaks/Panama Papers**：メガ・リークの時代の到来
2. **Snowden事件**：大量監視（mass surveillance）社会の到来
3. **リーク報道に対する捜査**：情報提供者と記者の保護の必要性

記者にとっての課題は3つあります。

1. **自分を守るため**：会社や取材先の情報を漏らしたりして、失職しない
2. **情報提供者を守るため**：決死の正義感で告発し、自分を信頼した人を絶対に守る
3. **不可能だったことを可能にするため**：完全匿名通信や巨大データの取得が可能になる

法律論・制度論を語ることが無意味だとは言わないが、現実を否定することはできない。

1. **通信の全量保存体制**：過去に遡ってすべてを検索できる
2. **行政府の電子化**：メール・庁舎出入り記録・監視カメラ（調査に令状不要）
3. **ビッグデータ社会**：車の通過記録（Nシステム、高速料金所）、CCTV画像など

報道固有の問題：「語るに落ちる」危険性

1. **写真**：撮影時間、場所などが分かる恐れ
2. **電子透かし**：追跡用透かしがある可能性
3. **Hoax（騙すための文書）**：信用失墜、メディア批評、実力試しの標的

Threat Modeling：国内の情報漏えい事故（2018年）は432件。すべての脅威を退ける魔法の杖はない。平場の取材しかしない記者と調査報道をする記者の課題は同じではない。**誰から何を守るのか**を想定して、対策を決める必要がある。

あくまでも基本的な対策として...

- すでにウイルスに感染していないか？
- 記者用パソコンの紛失・盗難対策
- 出張先でパソコン・携帯のupdateの禁止
- 仕事関係の連絡はできる限りSignal
- 取材でLINEやTwitter/Instagramは必要
- ただし、裏アカは原則的として禁止
- スマホの内部データアクセス権限の再確認
- iCloudで電話帳の同期は禁止・データ削除
- パスワード管理の見直し（アプリの活用など）
- 組織として定期的な研修

欧米のジャーナリズム関連イベントでは、セキュリティに関する講義が必ず開かれるようになっていく。何が変わったのか？

1. **Wikileaks/Panama Papers**：メガ・リークの時代の到来
2. **Snowden事件**：大量監視（mass surveillance）社会の到来
3. **リーク報道に対する捜査**：情報提供者と記者の保護の必要性

記者にとっての課題は3つあります。

1. **自分を守るため**：会社や取材先の情報を漏らしたりして、失職しない
2. **情報提供者を守るため**：決死の正義感で告発し、自分を信頼した人を絶対に守る
3. **不可能だったことを可能にするため**：完全匿名通信や巨大データの取得が可能になる

法律論・制度論を語ることが無意味だとは言わないが、現実を否定することはできない。

1. **通信の全量保存体制**：過去に遡ってすべてを検索できる
2. **行政府の電子化**：メール・庁舎出入り記録・監視カメラ（調査に令状不要）
3. **ビッグデータ社会**：車の通過記録（Nシステム、高速料金所）、CCTV画像など

報道固有の問題：「語るに落ちる」危険性

1. **写真**：撮影時間、場所などが分かる恐れ
2. **電子透かし**：追跡用透かしがある可能性
3. **Hoax（騙すための文書）**：信用失墜、メディア批評、実力試しの標的

Threat Modeling：国内の情報漏えい事故（2018年）は445件。すべての脅威を退ける魔法の杖はない。平場の取材しかしない記者と調査報道をする記者の課題は同じではない。**誰から何を守るのか**を想定して、対策を決める必要がある。

あくまでも基本的な対策として...

- すでにウイルスに感染していないか？
- 記者用パソコンの紛失・盗難対策
- 出張先でパソコン・携帯のupdateの禁止
- 仕事関係の連絡はできる限りSignal
- 取材でLINEやTwitter/Instagramは必要
- ただし、裏アカは原則的として禁止
- スマホの内部データアクセス権限の再確認
- iCloudで電話帳の同期は禁止・データ削除
- パスワード管理の見直し（アプリの活用など）
- 組織として定期的な研修

欧米のジャーナリズム関連イベントでは、セキュリティに関する講義が必ず開かれるようになっていく。何が変わったのか？

1. **Wikileaks/Panama Papers**：メガ・リークの時代の到来
2. **Snowden事件**：大量監視（mass surveillance）社会の到来
3. **リーク報道に対する捜査**：情報提供者と記者の保護の必要性

記者にとっての課題は3つあります。

1. **自分を守るため**：会社や取材先の情報を漏らしたりして、失職しない
2. **情報提供者を守るため**：決死の正義感で告発し、自分を信頼した人を絶対を守る
3. **不可能だったことを可能にするため**：完全匿名通信や巨大データの取得が可能になる

法律論・制度論を語ることが無意味だとは言わないが、現実を否定することはできない。

1. **通信の全量保存体制**：過去に遡ってすべてを検索できる
2. **行政府の電子化**：メール・庁舎出入り記録・監視カメラ（調査に令状不要）
3. **ビッグデータ社会**：車の通過記録（Nシステム、高速料金所）、CCTV画像など

報道固有の問題：「語るに落ちる」危険性

1. **写真**：撮影時間、場所などが分かる恐れ
2. **電子透かし**：追跡用透かしがある可能性
3. **Hoax（騙すための文書）**：信用失墜、メディア批評、実力試しの標的

Threat Modeling：国内の情報漏えい事故（2018年）は396件。すべての脅威を退ける魔法の杖はない。平場の取材しかしない記者と調査報道をする記者の課題は同じではない。**誰から何を守るのか**を想定して、対策を決める必要がある。

あくまでも基本的な対策として...

- すでにウイルスに感染していないか？
- 記者用パソコンの紛失・盗難対策
- 出張先でパソコン・携帯のupdateの禁止
- 仕事関係の連絡はできる限りSignal
- 取材でLINEやTwitter/Instagramは必要
- ただし、裏アカは原則的として禁止
- スマホの内部データアクセス権限の再確認
- iCloudで電話帳の同期は禁止・データ削除
- パスワード管理の見直し（アプリの活用など）
- 組織として定期的な研修

欧米のジャーナリズム関連イベントでは、セキュリティに関する講義が必ず開かれるようになっていく。何が変わったのか？

1. **Wikileaks/Panama Papers**：メガ・リークの時代の到来
2. **Snowden事件**：大量監視（mass surveillance）社会の到来
3. **リーク報道に対する捜査**：情報提供者と記者の保護の必要性

記者にとっての課題は3つあります。

1. **自分を守るため**：会社や取材先の情報を漏らしたりして、失職しない
2. **情報提供者を守るため**：決死の正義感で告発し、自分を信頼した人を絶対に守る
3. **不可能だったことを可能にするため**：完全匿名通信や巨大データの取得が可能になる

法律論・制度論を語ることが無意味だとは言わないが、現実を否定することはできない。

1. **通信の全量保存体制**：過去に遡ってすべてを検索できる
2. **行政府の電子化**：メール・庁舎出入り記録・監視カメラ（調査に令状不要）
3. **ビッグデータ社会**：車の通過記録（Nシステム、高速料金所）、CCTV画像など

報道固有の問題：「語るに落ちる」危険性

1. **写真**：撮影時間、場所などが分かる恐れ
2. **電子透かし**：追跡用透かしがある可能性
3. **Hoax（騙すための文書）**：信用失墜、メディア批評、実力試しの標的

Threat Modeling：国内の情報漏えい事故（2018年）は476件。すべての脅威を退ける魔法の杖はない。平場の取材しかしない記者と調査報道をする記者の課題は同じではない。**誰から何を守るのか**を想定して、対策を決める必要がある。

あくまでも基本的な対策として...

- すでにウイルスに感染していないか？
- 記者用パソコンの紛失・盗難対策
- 出張先でパソコン・携帯のupdateの禁止
- 仕事関係の連絡はできる限りSignal
- 取材でLINEやTwitter/Instagramは必要
- ただし、裏アカは原則的として禁止
- スマホの内部データアクセス権限の再確認
- iCloudで電話帳の同期は禁止・データ削除
- パスワード管理の見直し（アプリの活用など）
- 組織として定期的な研修

欧米のジャーナリズム関連イベントでは、セキュリティに関する講義が必ず開かれるようになっていく。何が変わったのか？

1. **Wikileaks/Panama Papers**：メガ・リークの時代の到来
2. **Snowden事件**：大量監視（mass surveillance）社会の到来
3. **リーク報道に対する捜査**：情報提供者と記者の保護の必要性

記者にとっての課題は3つあります。

1. **自分を守るため**：会社や取材先の情報を漏らしたりして、失職しない
2. **情報提供者を守るため**：決死の正義感で告発し、自分を信頼した人を絶対を守る
3. **不可能だったことを可能にするため**：完全匿名通信や巨大データの取得が可能になる

法律論・制度論を語ることが無意味だとは言わないが、現実を否定することはできない。

1. **通信の全量保存体制**：過去に遡ってすべてを検索できる
2. **行政府の電子化**：メール・庁舎出入り記録・監視カメラ（調査に令状不要）
3. **ビッグデータ社会**：車の通過記録（Nシステム、高速料金所）、CCTV画像など

報道固有の問題：「語るに落ちる」危険性

1. **写真**：撮影時間、場所などが分かる恐れ
2. **電子透かし**：追跡用透かしがある可能性
3. **Hoax（騙すための文書）**：信用失墜、メディア批評、実力試しの標的

Threat Modeling：国内の情報漏えい事故（2018年）は459件。すべての脅威を退ける魔法の杖はない。平場の取材しかしない記者と調査報道をする記者の課題は同じではない。**誰から何を守るのか**を想定して、対策を決める必要がある。

あくまでも基本的な対策として...

- すでにウイルスに感染していないか？
- 記者用パソコンの紛失・盗難対策
- 出張先でパソコン・携帯のupdateの禁止
- 仕事関係の連絡はできる限りSignal
- 取材でLINEやTwitter/Instagramは必要
- ただし、裏アカは原則的として禁止
- スマホの内部データアクセス権限の再確認
- iCloudで電話帳の同期は禁止・データ削除
- パスワード管理の見直し（アプリの活用など）
- 組織として定期的な研修

欧米のジャーナリズム関連イベントでは、セキュリティに関する講義が必ず開かれるようになっていく。何が変わったのか？

1. **Wikileaks/Panama Papers**：メガ・リークの時代の到来
2. **Snowden事件**：大量監視（mass surveillance）社会の到来
3. **リーク報道に対する捜査**：情報提供者と記者の保護の必要性

記者にとっての課題は3つあります。

1. **自分を守るため**：会社や取材先の情報を漏らしたりして、失職しない
2. **情報提供者を守るため**：決死の正義感で告発し、自分を信頼した人を絶対を守る
3. **不可能だったことを可能にするため**：完全匿名通信や巨大データの取得が可能になる

法律論・制度論を語ることが無意味だとは言わないが、現実を否定することはできない。

1. **通信の全量保存体制**：過去に遡ってすべてを検索できる
2. **行政府の電子化**：メール・庁舎出入り記録・監視カメラ（調査に令状不要）
3. **ビッグデータ社会**：車の通過記録（Nシステム、高速料金所）、CCTV画像など

報道固有の問題：「語るに落ちる」危険性

1. **写真**：撮影時間、場所などが分かる恐れ
2. **電子透かし**：追跡用透かしがある可能性
3. **Hoax（騙すための文書）**：信用失墜、メディア批評、実力試しの標的

Threat Modeling：国内の情報漏えい事故（2018年）は387件。すべての脅威を退ける魔法の杖はない。平場の取材しかしない記者と調査報道をする記者の課題は同じではない。**誰から何を守るのか**を想定して、対策を決める必要がある。

あくまでも基本的な対策として...

- すでにウイルスに感染していないか？
- 記者用パソコンの紛失・盗難対策
- 出張先でパソコン・携帯のupdateの禁止
- 仕事関係の連絡はできる限りSignal
- 取材でLINEやTwitter/Instagramは必要
- ただし、裏アカは原則的として禁止
- スマホの内部データアクセス権限の再確認
- iCloudで電話帳の同期は禁止・データ削除
- パスワード管理の見直し（アプリの活用など）
- 組織として定期的な研修

欧米のジャーナリズム関連イベントでは、セキュリティに関する講義が必ず開かれるようになっていく。何が変わったのか？

1. **Wikileaks/Panama Papers**：メガ・リークの時代の到来
2. **Snowden事件**：大量監視（mass surveillance）社会の到来
3. **リーク報道に対する捜査**：情報提供者と記者の保護の必要性

記者にとっての課題は3つあります。

1. **自分を守るため**：会社や取材先の情報を漏らしたりして、失職しない
2. **情報提供者を守るため**：決死の正義感で告発し、自分を信頼した人を絶対に守る
3. **不可能だったことを可能にするため**：完全匿名通信や巨大データの取得が可能になる

法律論・制度論を語ることが無意味だとは言わないが、現実を否定することはできない。

1. **通信の全量保存体制**：過去に遡ってすべてを検索できる
2. **行政府の電子化**：メール・庁舎出入り記録・監視カメラ（調査に令状不要）
3. **ビッグデータ社会**：車の通過記録（Nシステム、高速料金所）、CCTV画像など

報道固有の問題：「語るに落ちる」危険性

1. **写真**：撮影時間、場所などが分かる恐れ
2. **電子透かし**：追跡用透かしがある可能性
3. **Hoax（騙すための文書）**：信用失墜、メディア批評、実力試しの標的

Threat Modeling：国内の情報漏えい事故（2018年）は472件。すべての脅威を退ける魔法の杖はない。平場の取材しかしない記者と調査報道をする記者の課題は同じではない。**誰から何を守るのか**を想定して、対策を決める必要がある。

あくまでも基本的な対策として...

- すでにウイルスに感染していないか？
- 記者用パソコンの紛失・盗難対策
- 出張先でパソコン・携帯のupdateの禁止
- 仕事関係の連絡はできる限りSignal
- 取材でLINEやTwitter/Instagramは必要
- ただし、裏アカは原則的として禁止
- スマホの内部データアクセス権限の再確認
- iCloudで電話帳の同期は禁止・データ削除
- パスワード管理の見直し（アプリの活用など）
- 組織として定期的な研修

欧米のジャーナリズム関連イベントでは、セキュリティに関する講義が必ず開かれるようになっていく。何が変わったのか？

1. **Wikileaks/Panama Papers**：メガ・リークの時代の到来
2. **Snowden事件**：大量監視（mass surveillance）社会の到来
3. **リーク報道に対する捜査**：情報提供者と記者の保護の必要性

記者にとっての課題は3つあります。

1. **自分を守るため**：会社や取材先の情報を漏らしたりして、失職しない
2. **情報提供者を守るため**：決死の正義感で告発し、自分を信頼した人を絶対に守る
3. **不可能だったことを可能にするため**：完全匿名通信や巨大データの取得が可能になる

法律論・制度論を語ることが無意味だとは言わないが、現実を否定することはできない。

1. **通信の全量保存体制**：過去に遡ってすべてを検索できる
2. **行政府の電子化**：メール・庁舎出入り記録・監視カメラ（調査に令状不要）
3. **ビッグデータ社会**：車の通過記録（Nシステム、高速料金所）、CCTV画像など

報道固有の問題：「語るに落ちる」危険性

1. **写真**：撮影時間、場所などが分かる恐れ
2. **電子透かし**：追跡用透かしがある可能性
3. **Hoax（騙すための文書）**：信用失墜、メディア批評、実力試しの標的

Threat Modeling：国内の情報漏えい事故（2018年）は413件。すべての脅威を退ける魔法の杖はない。平場の取材しかしない記者と調査報道をする記者の課題は同じではない。**誰から何を守るのか**を想定して、対策を決める必要がある。

あくまでも基本的な対策として...

- すでにウイルスに感染していないか？
- 記者用パソコンの紛失・盗難対策
- 出張先でパソコン・携帯のupdateの禁止
- 仕事関係の連絡はできる限りSignal
- 取材でLINEやTwitter/Instagramは必要
- ただし、裏アカは原則的として禁止
- スマホの内部データアクセス権限の再確認
- iCloudで電話帳の同期は禁止・データ削除
- パスワード管理の見直し（アプリの活用など）
- 組織として定期的な研修



欧米のジャーナリズム関連イベントでは、セキュリティに関する講義が必ず開かれるようになっていく。何が変わったのか？

1. **Wikileaks/Panama Papers**：メガ・リークの時代の到来
2. **Snowden事件**：大量監視（mass surveillance）社会の到来
3. **リーク報道に対する捜査**：情報提供者と記者の保護の必要性

記者にとっての課題は3つあります。

1. **自分を守るため**：会社や取材先の情報を漏らしたりして、失職しない
2. **情報提供者を守るため**：決死の正義感で告発し、自分を信頼した人を絶対を守る
3. **不可能だったことを可能にするため**：完全匿名通信や巨大データの取得が可能になる

法律論・制度論を語ることが無意味だとは言わないが、現実を否定することはできない。

1. **通信の全量保存体制**：過去に遡ってすべてを検索できる
2. **行政府の電子化**：メール・庁舎出入り記録・監視カメラ（調査に令状不要）
3. **ビッグデータ社会**：車の通過記録（Nシステム、高速料金所）、CCTV画像など

報道固有の問題：「語るに落ちる」危険性

1. **写真**：撮影時間、場所などが分かる恐れ
2. **電子透かし**：追跡用透かしがある可能性
3. **Hoax（騙すための文書）**：信用失墜、メディア批評、実力試しの標的

Threat Modeling：国内の情報漏えい事故（2018年）は450件。すべての脅威を退ける魔法の杖はない。平場の取材しかしない記者と調査報道をする記者の課題は同じではない。**誰から何を守るのか**を想定して、対策を決める必要がある。

あくまでも基本的な対策として...

- すでにウイルスに感染していないか？
- 記者用パソコンの紛失・盗難対策
- 出張先でパソコン・携帯のupdateの禁止
- 仕事関係の連絡はできる限りSignal
- 取材でLINEやTwitter/Instagramは必要
- ただし、裏アカは原則的として禁止
- スマホの内部データアクセス権限の再確認
- iCloudで電話帳の同期は禁止・データ削除
- パスワード管理の見直し（アプリの活用など）
- 組織として定期的な研修

欧米のジャーナリズム関連イベントでは、セキュリティに関する講義が必ず開かれるようになっていく。何が変わったのか？

1. **Wikileaks/Panama Papers**：メガ・リークの時代の到来
2. **Snowden事件**：大量監視（mass surveillance）社会の到来
3. **リーク報道に対する捜査**：情報提供者と記者の保護の必要性

記者にとっての課題は3つあります。

1. **自分を守るため**：会社や取材先の情報を漏らしたりして、失職しない
2. **情報提供者を守るため**：決死の正義感で告発し、自分を信頼した人を絶対に守る
3. **不可能だったことを可能にするため**：完全匿名通信や巨大データの取得が可能になる

法律論・制度論を語ることが無意味だとは言わないが、現実を否定することはできない。

1. **通信の全量保存体制**：過去に遡ってすべてを検索できる
2. **行政府の電子化**：メール・庁舎出入り記録・監視カメラ（調査に令状不要）
3. **ビッグデータ社会**：車の通過記録（Nシステム、高速料金所）、CCTV画像など

報道固有の問題：「語るに落ちる」危険性

1. **写真**：撮影時間、場所などが分かる恐れ
2. **電子透かし**：追跡用透かしがある可能性
3. **Hoax（騙すための文書）**：信用失墜、メディア批評、実力試しの標的

Threat Modeling：国内の情報漏えい事故（2018年）は466件。すべての脅威を退ける魔法の杖はない。平場の取材しかしない記者と調査報道をする記者の課題は同じではない。**誰から何を守るのか**を想定して、対策を決める必要がある。

あくまでも基本的な対策として...

- すでにウイルスに感染していないか？
- 記者用パソコンの紛失・盗難対策
- 出張先でパソコン・携帯のupdateの禁止
- 仕事関係の連絡はできる限りSignal
- 取材でLINEやTwitter/Instagramは必要
- ただし、裏アカは原則的として禁止
- スマホの内部データアクセス権限の再確認
- iCloudで電話帳の同期は禁止・データ削除
- パスワード管理の見直し（アプリの活用など）
- 組織として定期的な研修

欧米のジャーナリズム関連イベントでは、セキュリティに関する講義が必ず開かれるようになっていく。何が変わったのか？

1. **Wikileaks/Panama Papers**：メガ・リークの時代の到来
2. **Snowden事件**：大量監視（mass surveillance）社会の到来
3. **リーク報道に対する捜査**：情報提供者と記者の保護の必要性

記者にとっての課題は3つあります。

1. **自分を守るため**：会社や取材先の情報を漏らしたりして、失職しない
2. **情報提供者を守るため**：決死の正義感で告発し、自分を信頼した人を絶対を守る
3. **不可能だったことを可能にするため**：完全匿名通信や巨大データの取得が可能になる

法律論・制度論を語ることが無意味だとは言わないが、現実を否定することはできない。

1. **通信の全量保存体制**：過去に遡ってすべてを検索できる
2. **行政府の電子化**：メール・庁舎出入り記録・監視カメラ（調査に令状不要）
3. **ビッグデータ社会**：車の通過記録（Nシステム、高速料金所）、CCTV画像など

報道固有の問題：「語るに落ちる」危険性

1. **写真**：撮影時間、場所などが分かる恐れ
2. **電子透かし**：追跡用透かしがある可能性
3. **Hoax（騙すための文書）**：信用失墜、メディア批評、実力試しの標的

Threat Modeling：国内の情報漏えい事故（2018年）は425件。すべての脅威を退ける魔法の杖はない。平場の取材しかしない記者と調査報道をする記者の課題は同じではない。**誰から何を守るのか**を想定して、対策を決める必要がある。

あくまでも基本的な対策として...

- すでにウイルスに感染していないか？
- 記者用パソコンの紛失・盗難対策
- 出張先でパソコン・携帯のupdateの禁止
- 仕事関係の連絡はできる限りSignal
- 取材でLINEやTwitter/Instagramは必要
- ただし、裏アカは原則的として禁止
- スマホの内部データアクセス権限の再確認
- iCloudで電話帳の同期は禁止・データ削除
- パスワード管理の見直し（アプリの活用など）
- 組織として定期的な研修

欧米のジャーナリズム関連イベントでは、セキュリティに関する講義が必ず開かれるようになっていく。何が変わったのか？

1. **Wikileaks/Panama Papers**：メガ・リークの時代の到来
2. **Snowden事件**：大量監視（mass surveillance）社会の到来
3. **リーク報道に対する捜査**：情報提供者と記者の保護の必要性

記者にとっての課題は3つあります。

1. **自分を守るため**：会社や取材先の情報を漏らしたりして、失職しない
2. **情報提供者を守るため**：決死の正義感で告発し、自分を信頼した人を絶対に守る
3. **不可能だったことを可能にするため**：完全匿名通信や巨大データの取得が可能になる

法律論・制度論を語ることが無意味だとは言わないが、現実を否定することはできない。

1. **通信の全量保存体制**：過去に遡ってすべてを検索できる
2. **行政府の電子化**：メール・庁舎出入り記録・監視カメラ（調査に令状不要）
3. **ビッグデータ社会**：車の通過記録（Nシステム、高速料金所）、CCTV画像など

報道固有の問題：「語るに落ちる」危険性

1. **写真**：撮影時間、場所などが分かる恐れ
2. **電子透かし**：追跡用透かしがある可能性
3. **Hoax（騙すための文書）**：信用失墜、メディア批評、実力試しの標的

Threat Modeling：国内の情報漏えい事故（2018年）は474件。すべての脅威を退ける魔法の杖はない。平場の取材しかしない記者と調査報道をする記者の課題は同じではない。**誰から何を守るのか**を想定して、対策を決める必要がある。

あくまでも基本的な対策として...

- すでにウイルスに感染していないか？
- 記者用パソコンの紛失・盗難対策
- 出張先でパソコン・携帯のupdateの禁止
- 仕事関係の連絡はできる限りSignal
- 取材でLINEやTwitter/Instagramは必要
- ただし、裏アカは原則的として禁止
- スマホの内部データアクセス権限の再確認
- iCloudで電話帳の同期は禁止・データ削除
- パスワード管理の見直し（アプリの活用など）
- 組織として定期的な研修

欧米のジャーナリズム関連イベントでは、セキュリティに関する講義が必ず開かれるようになっていく。何が変わったのか？

1. **Wikileaks/Panama Papers**：メガ・リークの時代の到来
2. **Snowden事件**：大量監視（mass surveillance）社会の到来
3. **リーク報道に対する捜査**：情報提供者と記者の保護の必要性

記者にとっての課題は3つあります。

1. **自分を守るため**：会社や取材先の情報を漏らしたりして、失職しない
2. **情報提供者を守るため**：決死の正義感で告発し、自分を信頼した人を絶対を守る
3. **不可能だったことを可能にするため**：完全匿名通信や巨大データの取得が可能になる

法律論・制度論を語ることが無意味だとは言わないが、現実を否定することはできない。

1. **通信の全量保存体制**：過去に遡ってすべてを検索できる
2. **行政府の電子化**：メール・庁舎出入り記録・監視カメラ（調査に令状不要）
3. **ビッグデータ社会**：車の通過記録（Nシステム、高速料金所）、CCTV画像など

報道固有の問題：「語るに落ちる」危険性

1. **写真**：撮影時間、場所などが分かる恐れ
2. **電子透かし**：追跡用透かしがある可能性
3. **Hoax（騙すための文書）**：信用失墜、メディア批評、実力試しの標的

Threat Modeling：国内の情報漏えい事故（2018年）は477件。すべての脅威を退ける魔法の杖はない。平場の取材しかしない記者と調査報道をする記者の課題は同じではない。**誰から何を守るのか**を想定して、対策を決める必要がある。

あくまでも基本的な対策として...

- すでにウイルスに感染していないか？
- 記者用パソコンの紛失・盗難対策
- 出張先でパソコン・携帯のupdateの禁止
- 仕事関係の連絡はできる限りSignal
- 取材でLINEやTwitter/Instagramは必要
- ただし、裏アカは原則的として禁止
- スマホの内部データアクセス権限の再確認
- iCloudで電話帳の同期は禁止・データ削除
- パスワード管理の見直し（アプリの活用など）
- 組織として定期的な研修

欧米のジャーナリズム関連イベントでは、セキュリティに関する講義が必ず開かれるようになっていく。何が変わったのか？

1. **Wikileaks/Panama Papers**：メガ・リークの時代の到来
2. **Snowden事件**：大量監視（mass surveillance）社会の到来
3. **リーク報道に対する捜査**：情報提供者と記者の保護の必要性

記者にとっての課題は3つあります。

1. **自分を守るため**：会社や取材先の情報を漏らしたりして、失職しない
2. **情報提供者を守るため**：決死の正義感で告発し、自分を信頼した人を絶対に守る
3. **不可能だったことを可能にするため**：完全匿名通信や巨大データの取得が可能になる

法律論・制度論を語ることが無意味だとは言わないが、現実を否定することはできない。

1. **通信の全量保存体制**：過去に遡ってすべてを検索できる
2. **行政府の電子化**：メール・庁舎出入り記録・監視カメラ（調査に令状不要）
3. **ビッグデータ社会**：車の通過記録（Nシステム、高速料金所）、CCTV画像など

報道固有の問題：「語るに落ちる」危険性

1. **写真**：撮影時間、場所などが分かる恐れ
2. **電子透かし**：追跡用透かしがある可能性
3. **Hoax（騙すための文書）**：信用失墜、メディア批評、実力試しの標的

Threat Modeling：国内の情報漏えい事故（2018年）は466件。すべての脅威を退ける魔法の杖はない。平場の取材しかしない記者と調査報道をする記者の課題は同じではない。**誰から何を守るのか**を想定して、対策を決める必要がある。

あくまでも基本的な対策として...

- すでにウイルスに感染していないか？
- 記者用パソコンの紛失・盗難対策
- 出張先でパソコン・携帯のupdateの禁止
- 仕事関係の連絡はできる限りSignal
- 取材でLINEやTwitter/Instagramは必要
- ただし、裏アカは原則的として禁止
- スマホの内部データアクセス権限の再確認
- iCloudで電話帳の同期は禁止・データ削除
- パスワード管理の見直し（アプリの活用など）
- 組織として定期的な研修

欧米のジャーナリズム関連イベントでは、セキュリティに関する講義が必ず開かれるようになっていく。何が変わったのか？

1. **Wikileaks/Panama Papers**：メガ・リークの時代の到来
2. **Showden事件**：大量監視（mass surveillance）社会の到来
3. **リーク報道に対する捜査**：情報提供者と記者の保護の必要性

記者にとっての課題は3つあります。

1. **自分を守るため**：会社や取材先の情報を漏らしたりして、失職しない
2. **情報提供者を守るため**：決死の正義感で告発し、自分を信頼した人を絶対に守る
3. **不可能だったことを可能にするため**：完全匿名通信や巨大データの取得が可能になる

法律論・制度論を語ることが無意味だとは言わないが、現実を否定することはできない。

1. **通信の全量保存体制**：過去に遡ってすべてを検索できる
2. **行政府の電子化**：メール・庁舎出入り記録・監視カメラ（調査に令状不要）
3. **ビッグデータ社会**：車の通過記録（Nシステム、高速料金所）、CCTV画像など

報道固有の問題：「語るに落ちる」危険性

1. **写真**：撮影時間、場所などが分かる恐れ
2. **電子透かし**：追跡用透かしがある可能性
3. **Hoax（騙すための文書）**：信用失墜、メディア批評、実力試しの標的

Threat Modeling：国内の情報漏えい事故（2018年）は462件。すべての脅威を退ける魔法の杖はない。平場の取材しかしない記者と調査報道をする記者の課題は同じではない。**誰から何を守るのか**を想定して、対策を決める必要がある。

あくまでも基本的な対策として...

- すでにウイルスに感染していないか？
- 記者用パソコンの紛失・盗難対策
- 出張先でパソコン・携帯のupdateの禁止
- 仕事関係の連絡はできる限りSignal
- 取材でLINEやTwitter/Instagramは必要
- ただし、裏アカは原則的として禁止
- スマホの内部データアクセス権限の再確認
- iCloudで電話帳の同期は禁止・データ削除
- パスワード管理の見直し（アプリの活用など）
- 組織として定期的な研修

欧米のジャーナリズム関連イベントでは、セキュリティに関する講義が必ず開かれるようになっていく。何が変わったのか？

1. **Wikileaks/Panama Papers**：メガ・リークの時代の到来
2. **Snowden事件**：大量監視（mass surveillance）社会の到来
3. **リーク報道に対する捜査**：情報提供者と記者の保護の必要性

記者にとっての課題は3つあります。

1. **自分を守るため**：会社や取材先の情報を漏らしたりして、失職しない
2. **情報提供者を守るため**：決死の正義感で告発し、自分を信頼した人を絶対に守る
3. **不可能だったことを可能にするため**：完全匿名通信や巨大データの取得が可能になる

法律論・制度論を語ることが無意味だとは言わないが、現実を否定することはできない。

1. **通信の全量保存体制**：過去に遡ってすべてを検索できる
2. **行政府の電子化**：メール・庁舎出入り記録・監視カメラ（調査に令状不要）
3. **ビッグデータ社会**：車の通過記録（Nシステム、高速料金所）、CCTV画像など

報道固有の問題：「語るに落ちる」危険性

1. **写真**：撮影時間、場所などが分かる恐れ
2. **電子透かし**：追跡用透かしがある可能性
3. **Hoax（騙すための文書）**：信用失墜、メディア批評、実力試しの標的

Threat Modeling：国内の情報漏えい事故（2018年）は446件。すべての脅威を退ける魔法の杖はない。平場の取材しかしない記者と調査報道をする記者の課題は同じではない。**誰から何を守るのか**を想定して、対策を決める必要がある。

あくまでも基本的な対策として...

- すでにウイルスに感染していないか？
- 記者用パソコンの紛失・盗難対策
- 出張先でパソコン・携帯のupdateの禁止
- 仕事関係の連絡はできる限りSignal
- 取材でLINEやTwitter/Instagramは必要
- ただし、裏アカは原則的として禁止
- スマホの内部データアクセス権限の再確認
- iCloudで電話帳の同期は禁止・データ削除
- パスワード管理の見直し（アプリの活用など）
- 組織として定期的な研修



欧米のジャーナリズム関連イベントでは、セキュリティに関する講義が必ず開かれるようになっている。何が変わったのか？

1. **Wikileaks/Panama Papers**：メガ・リークの時代の到来
2. **Snowden事件**：大量監視（mass surveillance）社会の到来
3. **リーク報道に対する捜査**：情報提供者と記者の保護の必要性

記者にとっての課題は3つあります。

1. **自分を守るため**：会社や取材先の情報を漏らしたりして、失職しない
2. **情報提供者を守るため**：決死の正義感で告発し、自分を信頼した人を絶対を守る
3. **不可能だったことを可能にするため**：完全匿名通信や巨大データの取得が可能になる

法律論・制度論を語ることが無意味だとは言わないが、現実を否定することはできない。

1. **通信の全量保存体制**：過去に遡ってすべてを検索できる
2. **行政府の電子化**：メール・庁舎出入り記録・監視カメラ（調査に令状不要）
3. **ビッグデータ社会**：車の通過記録（Nシステム、高速料金所）、CCTV画像など

報道固有の問題：「語るに落ちる」危険性

1. **写真**：撮影時間、場所などが分かる恐れ
2. **電子透かし**：追跡用透かしがある可能性
3. **Hoax（騙すための文書）**：信用失墜、メディア批評、実力試しの標的

Threat Modeling：国内の情報漏えい事故（2018年）は476件。すべての脅威を退ける魔法の杖はない。平場の取材しかしない記者と調査報道をする記者の課題は同じではない。**誰から何を守るのか**を想定して、対策を決める必要がある。

あくまでも基本的な対策として...

- すでにウイルスに感染していないか？
- 記者用パソコンの紛失・盗難対策
- 出張先でパソコン・携帯のupdateの禁止
- 仕事関係の連絡はできる限りSignal
- 取材でLINEやTwitter/Instagramは必要
- ただし、裏アカは原則的として禁止
- スマホの内部データアクセス権限の再確認
- iCloudで電話帳の同期は禁止・データ削除
- パスワード管理の見直し（アプリの活用など）
- 組織として定期的な研修

欧米のジャーナリズム関連イベントでは、セキュリティに関する講義が必ず開かれるようになっていく。何が変わったのか？

1. **Wikileaks/Panama Papers**：メガ・リークの時代の到来
2. **Snowden事件**：大量監視（mass surveillance）社会の到来
3. **リーク報道に対する捜査**：情報提供者と記者の保護の必要性

記者にとっての課題は3つあります。

1. **自分を守るため**：会社や取材先の情報を漏らしたりして、失職しない
2. **情報提供者を守るため**：決死の正義感で告発し、自分を信頼した人を絶対に守る
3. **不可能だったことを可能にするため**：完全匿名通信や巨大データの取得が可能になる

法律論・制度論を語ることが無意味だとは言わないが、現実を否定することはできない。

1. **通信の全量保存体制**：過去に遡ってすべてを検索できる
2. **行政府の電子化**：メール・庁舎出入り記録・監視カメラ（調査に令状不要）
3. **ビッグデータ社会**：車の通過記録（Nシステム、高速料金所）、CCTV画像など

報道固有の問題：「語るに落ちる」危険性

1. **写真**：撮影時間、場所などが分かる恐れ
2. **電子透かし**：追跡用透かしがある可能性
3. **Hoax（騙すための文書）**：信用失墜、メディア批評、実力試しの標的

Threat Modeling：国内の情報漏えい事故（2018年）は458件。すべての脅威を退ける魔法の杖はない。平場の取材しかしない記者と調査報道をする記者の課題は同じではない。**誰から何を守るのか**を想定して、対策を決める必要がある。

あくまでも基本的な対策として...

- すでにウイルスに感染していないか？
- 記者用パソコンの紛失・盗難対策
- 出張先でパソコン・携帯のupdateの禁止
- 仕事関係の連絡はできる限りSignal
- 取材でLINEやTwitter/Instagramは必要
- ただし、裏アカは原則的として禁止
- スマホの内部データアクセス権限の再確認
- iCloudで電話帳の同期は禁止・データ削除
- パスワード管理の見直し（アプリの活用など）
- 組織として定期的な研修

欧米のジャーナリズム関連イベントでは、セキュリティに関する講義が必ず開かれるようになっていく。何が変わったのか？

1. **Wikileaks/Panama Papers**：メガ・リークの時代の到来
2. **Snowden事件**：大量監視（mass surveillance）社会の到来
3. **リーク報道に対する捜査**：情報提供者と記者の保護の必要性

記者にとっての課題は3つあります。

1. **自分を守るため**：会社や取材先の情報を漏らしたりして、失職しない
2. **情報提供者を守るため**：決死の正義感で告発し、自分を信頼した人を絶対に守る
3. **不可能だったことを可能にするため**：完全匿名通信や巨大データの取得が可能になる

法律論・制度論を語ることが無意味だとは言わないが、現実を否定することはできない。

1. **通信の全量保存体制**：過去に遡ってすべてを検索できる
2. **行政府の電子化**：メール・庁舎出入り記録・監視カメラ（調査に令状不要）
3. **ビッグデータ社会**：車の通過記録（Nシステム、高速料金所）、CCTV画像など

報道固有の問題：「語るに落ちる」危険性

1. **写真**：撮影時間、場所などが分かる恐れ
2. **電子透かし**：追跡用透かしがある可能性
3. **Hoax（騙すための文書）**：信用失墜、メディア批評、実力試しの標的

Threat Modeling：国内の情報漏えい事故（2018年）は460件。すべての脅威を退ける魔法の杖はない。平場の取材しかしない記者と調査報道をする記者の課題は同じではない。**誰から何を守るのか**を想定して、対策を決める必要がある。

あくまでも基本的な対策として...

- すでにウイルスに感染していないか？
- 記者用パソコンの紛失・盗難対策
- 出張先でパソコン・携帯のupdateの禁止
- 仕事関係の連絡はできる限りSignal
- 取材でLINEやTwitter/Instagramは必要
- ただし、裏アカは原則的として禁止
- スマホの内部データアクセス権限の再確認
- iCloudで電話帳の同期は禁止・データ削除
- パスワード管理の見直し（アプリの活用など）
- 組織として定期的な研修

欧米のジャーナリズム関連イベントでは、セキュリティに関する講義が必ず開かれるようになっていく。何が変わったのか？

1. **Wikileaks/Panama Papers**：メガ・リークの時代の到来
2. **Snowden事件**：大量監視（mass surveillance）社会の到来
3. **リーク報道に対する捜査**：情報提供者と記者の保護の必要性

記者にとっての課題は3つあります。

1. **自分を守るため**：会社や取材先の情報を漏らしたりして、失職しない
2. **情報提供者を守るため**：決死の正義感で告発し、自分を信頼した人を絶対に守る
3. **不可能だったことを可能にするため**：完全匿名通信や巨大データの取得が可能になる

法律論・制度論を語ることが無意味だとは言わないが、現実を否定することはできない。

1. **通信の全量保存体制**：過去に遡ってすべてを検索できる
2. **行政府の電子化**：メール・庁舎出入り記録・監視カメラ（調査に令状不要）
3. **ビッグデータ社会**：車の通過記録（Nシステム、高速料金所）、CCTV画像など

報道固有の問題：「語るに落ちる」危険性

1. **写真**：撮影時間、場所などが分かる恐れ
2. **電子透かし**：追跡用透かしがある可能性
3. **Hoax（騙すための文書）**：信用失墜、メディア批評、実力試しの標的

Threat Modeling：国内の情報漏えい事故（2018年）は476件。すべての脅威を退ける魔法の杖はない。平場の取材しかしない記者と調査報道をする記者の課題は同じではない。**誰から何を守るのか**を想定して、対策を決める必要がある。

あくまでも基本的な対策として...

- すでにウイルスに感染していないか？
- 記者用パソコンの紛失・盗難対策
- 出張先でパソコン・携帯のupdateの禁止
- 仕事関係の連絡はできる限りSignal
- 取材でLINEやTwitter/Instagramは必要
- ただし、裏アカは原則的として禁止
- スマホの内部データアクセス権限の再確認
- iCloudで電話帳の同期は禁止・データ削除
- パスワード管理の見直し（アプリの活用など）
- 組織として定期的な研修

欧米のジャーナリズム関連イベントでは、セキュリティに関する講義が必ず開かれるようになっていく。何が変わったのか？

1. **Wikileaks/Panama Papers**：メガ・リークの時代の到来
2. **Snowden事件**：大量監視（mass surveillance）社会の到来
3. **リーク報道に対する捜査**：情報提供者と記者の保護の必要性

記者にとっての課題は3つあります。

1. **自分を守るため**：会社や取材先の情報を漏らしたりして、失職しない
2. **情報提供者を守るため**：決死の正義感で告発し、自分を信頼した人を絶対に守る
3. **不可能だったことを可能にするため**：完全匿名通信や巨大データの取得が可能になる

法律論・制度論を語ることが無意味だとは言わないが、現実を否定することはできない。

1. **通信の全量保存体制**：過去に遡ってすべてを検索できる
2. **行政府の電子化**：メール・庁舎出入り記録・監視カメラ（調査に令状不要）
3. **ビッグデータ社会**：車の通過記録（Nシステム、高速料金所）、CCTV画像など

報道固有の問題：「語るに落ちる」危険性

1. **写真**：撮影時間、場所などが分かる恐れ
2. **電子透かし**：追跡用透かしがある可能性
3. **Hoax（騙すための文書）**：信用失墜、メディア批評、実力試しの標的

Threat Modeling：国内の情報漏えい事故（2018年）は435件。すべての脅威を退ける魔法の杖はない。平場の取材しかしない記者と調査報道をする記者の課題は同じではない。**誰から何を守るのか**を想定して、対策を決める必要がある。

あくまでも基本的な対策として...

- すでにウイルスに感染していないか？
- 記者用パソコンの紛失・盗難対策
- 出張先でパソコン・携帯のupdateの禁止
- 仕事関係の連絡はできる限りSignal
- 取材でLINEやTwitter/Instagramは必要
- ただし、裏アカは原則的として禁止
- スマホの内部データアクセス権限の再確認
- iCloudで電話帳の同期は禁止・データ削除
- パスワード管理の見直し（アプリの活用など）
- 組織として定期的な研修

欧米のジャーナリズム関連イベントでは、セキュリティに関する講義が必ず開かれるようになっていく。何が変わったのか？

1. **Wikileaks/Panama Papers**：メガ・リークの時代の到来
2. **Snowden事件**：大量監視（mass surveillance）社会の到来
3. **リーク報道に対する捜査**：情報提供者と記者の保護の必要性

記者にとっての課題は3つあります。

1. **自分を守るため**：会社や取材先の情報を漏らしたりして、失職しない
2. **情報提供者を守るため**：決死の正義感で告発し、自分を信頼した人を絶対に守る
3. **不可能だったことを可能にするため**：完全匿名通信や巨大データの取得が可能になる

法律論・制度論を語ることが無意味だとは言わないが、現実を否定することはできない。

1. **通信の全量保存体制**：過去に遡ってすべてを検索できる
2. **行政府の電子化**：メール・庁舎出入り記録・監視カメラ（調査に令状不要）
3. **ビッグデータ社会**：車の通過記録（Nシステム、高速料金所）、CCTV画像など

報道固有の問題：「語るに落ちる」危険性

1. **写真**：撮影時間、場所などが分かる恐れ
2. **電子透かし**：追跡用透かしがある可能性
3. **Hoax（騙すための文書）**：信用失墜、メディア批評、実力試しの標的

Threat Modeling：国内の情報漏えい事故（2018年）は425件。すべての脅威を退ける魔法の杖はない。平場の取材しかしない記者と調査報道をする記者の課題は同じではない。**誰から何を守るのか**を想定して、対策を決める必要がある。

あくまでも基本的な対策として...

- すでにウイルスに感染していないか？
- 記者用パソコンの紛失・盗難対策
- 出張先でパソコン・携帯のupdateの禁止
- 仕事関係の連絡はできる限りSignal
- 取材でLINEやTwitter/Instagramは必要
- ただし、裏アカは原則的として禁止
- スマホの内部データアクセス権限の再確認
- iCloudで電話帳の同期は禁止・データ削除
- パスワード管理の見直し（アプリの活用など）
- 組織として定期的な研修

欧米のジャーナリズム関連イベントでは、セキュリティに関する講義が必ず開かれるようになっていく。何が変わったのか？

1. **Wikileaks/Panama Papers**：メガ・リークの時代の到来
2. **Snowden事件**：大量監視（mass surveillance）社会の到来
3. **リーク報道に対する捜査**：情報提供者と記者の保護の必要性

記者にとっての課題は3つあります。

1. **自分を守るため**：会社や取材先の情報を漏らしたりして、失職しない
2. **情報提供者を守るため**：決死の正義感で告発し、自分を信頼した人を絶対を守る
3. **不可能だったことを可能にするため**：完全匿名通信や巨大データの取得が可能になる

法律論・制度論を語ることが無意味だとは言わないが、現実を否定することはできない。

1. **通信の全量保存体制**：過去に遡ってすべてを検索できる
2. **行政府の電子化**：メール・庁舎出入り記録・監視カメラ（調査に令状不要）
3. **ビッグデータ社会**：車の通過記録（Nシステム、高速料金所）、CCTV画像など

報道固有の問題：「語るに落ちる」危険性

1. **写真**：撮影時間、場所などが分かる恐れ
2. **電子透かし**：追跡用透かしがある可能性
3. **Hoax（騙すための文書）**：信用失墜、メディア批評、実力試しの標的

Threat Modeling：国内の情報漏えい事故（2018年）は455件。すべての脅威を退ける魔法の杖はない。平場の取材しかしない記者と調査報道をする記者の課題は同じではない。**誰から何を守るのか**を想定して、対策を決める必要がある。

あくまでも基本的な対策として...

- すでにウイルスに感染していないか？
- 記者用パソコンの紛失・盗難対策
- 出張先でパソコン・携帯のupdateの禁止
- 仕事関係の連絡はできる限りSignal
- 取材でLINEやTwitter/Instagramは必要
- ただし、裏アカは原則的として禁止
- スマホの内部データアクセス権限の再確認
- iCloudで電話帳の同期は禁止・データ削除
- パスワード管理の見直し（アプリの活用など）
- 組織として定期的な研修

欧米のジャーナリズム関連イベントでは、セキュリティに関する講義が必ず開かれるようになっていく。何が変わったのか？

1. **Wikileaks/Panama Papers**：メガ・リークの時代の到来
2. **Snowden事件**：大量監視（mass surveillance）社会の到来
3. **リーク報道に対する捜査**：情報提供者と記者の保護の必要性

記者にとっての課題は3つあります。

1. **自分を守るため**：会社や取材先の情報を漏らしたりして、失職しない
2. **情報提供者を守るため**：決死の正義感で告発し、自分を信頼した人を絶対を守る
3. **不可能だったことを可能にするため**：完全匿名通信や巨大データの取得が可能になる

法律論・制度論を語ることが無意味だとは言わないが、現実を否定することはできない。

1. **通信の全量保存体制**：過去に遡ってすべてを検索できる
2. **行政府の電子化**：メール・庁舎出入り記録・監視カメラ（調査に令状不要）
3. **ビッグデータ社会**：車の通過記録（Nシステム、高速料金所）、CCTV画像など

報道固有の問題：「語るに落ちる」危険性

1. **写真**：撮影時間、場所などが分かる恐れ
2. **電子透かし**：追跡用透かしがある可能性
3. **Hoax（騙すための文書）**：信用失墜、メディア批評、実力試しの標的

Threat Modeling：国内の情報漏えい事故（2018年）は418件。すべての脅威を退ける魔法の杖はない。平場の取材しかしない記者と調査報道をする記者の課題は同じではない。**誰から何を守るのか**を想定して、対策を決める必要がある。

あくまでも基本的な対策として...

- すでにウイルスに感染していないか？
- 記者用パソコンの紛失・盗難対策
- 出張先でパソコン・携帯のupdateの禁止
- 仕事関係の連絡はできる限りSignal
- 取材でLINEやTwitter/Instagramは必要
- ただし、裏アカは原則的として禁止
- スマホの内部データアクセス権限の再確認
- iCloudで電話帳の同期は禁止・データ削除
- パスワード管理の見直し（アプリの活用など）
- 組織として定期的な研修



欧米のジャーナリズム関連イベントでは、セキュリティに関する講義が必ず開かれるようになっていく。何が変わったのか？

1. **Wikileaks/Panama Papers**：メガ・リークの時代の到来
2. **Snowden事件**：大量監視（mass surveillance）社会の到来
3. **リーク報道に対する捜査**：情報提供者と記者の保護の必要性

記者にとっての課題は3つあります。

1. **自分を守るため**：会社や取材先の情報を漏らしたりして、失職しない
2. **情報提供者を守るため**：決死の正義感で告発し、自分を信頼した人を絶対を守る
3. **不可能だったことを可能にするため**：完全匿名通信や巨大データの取得が可能になる

法律論・制度論を語ることが無意味だとは言わないが、現実を否定することはできない。

1. **通信の全量保存体制**：過去に遡ってすべてを検索できる
2. **行政府の電子化**：メール・庁舎出入り記録・監視カメラ（調査に令状不要）
3. **ビッグデータ社会**：車の通過記録（Nシステム、高速料金所）、CCTV画像など

報道固有の問題：「語るに落ちる」危険性

1. **写真**：撮影時間、場所などが分かる恐れ
2. **電子透かし**：追跡用透かしがある可能性
3. **Hoax（騙すための文書）**：信用失墜、メディア批評、実力試しの標的

Threat Modeling：国内の情報漏えい事故（2018年）は447件。すべての脅威を退ける魔法の杖はない。平場の取材しかしない記者と調査報道をする記者の課題は同じではない。**誰から何を守るのか**を想定して、対策を決める必要がある。

あくまでも基本的な対策として...

- すでにウイルスに感染していないか？
- 記者用パソコンの紛失・盗難対策
- 出張先でパソコン・携帯のupdateの禁止
- 仕事関係の連絡はできる限りSignal
- 取材でLINEやTwitter/Instagramは必要
- ただし、裏アカは原則的として禁止
- スマホの内部データアクセス権限の再確認
- iCloudで電話帳の同期は禁止・データ削除
- パスワード管理の見直し（アプリの活用など）
- 組織として定期的な研修

欧米のジャーナリズム関連イベントでは、セキュリティに関する講義が必ず開かれるようになっていく。何が変わったのか？

1. **Wikileaks/Panama Papers**：メガ・リークの時代の到来
2. **Snowden事件**：大量監視（mass surveillance）社会の到来
3. **リーク報道に対する捜査**：情報提供者と記者の保護の必要性

記者にとっての課題は3つあります。

1. **自分を守るため**：会社や取材先の情報を漏らしたりして、失職しない
2. **情報提供者を守るため**：決死の正義感で告発し、自分を信頼した人を絶対に守る
3. **不可能だったことを可能にするため**：完全匿名通信や巨大データの取得が可能になる

法律論・制度論を語ることが無意味だとは言わないが、現実を否定することはできない。

1. **通信の全量保存体制**：過去に遡ってすべてを検索できる
2. **行政府の電子化**：メール・庁舎出入り記録・監視カメラ（調査に令状不要）
3. **ビッグデータ社会**：車の通過記録（Nシステム、高速料金所）、CCTV画像など

報道固有の問題：「語るに落ちる」危険性

1. **写真**：撮影時間、場所などが分かる恐れ
2. **電子透かし**：追跡用透かしがある可能性
3. **Hoax（騙すための文書）**：信用失墜、メディア批評、実力試しの標的

Threat Modeling：国内の情報漏えい事故（2018年）は484件。すべての脅威を退ける魔法の杖はない。平場の取材しかしない記者と調査報道をする記者の課題は同じではない。**誰から何を守るのか**を想定して、対策を決める必要がある。

あくまでも基本的な対策として...

- すでにウイルスに感染していないか？
- 記者用パソコンの紛失・盗難対策
- 出張先でパソコン・携帯のupdateの禁止
- 仕事関係の連絡はできる限りSignal
- 取材でLINEやTwitter/Instagramは必要
- ただし、裏アカは原則的として禁止
- スマホの内部データアクセス権限の再確認
- iCloudで電話帳の同期は禁止・データ削除
- パスワード管理の見直し（アプリの活用など）
- 組織として定期的な研修

欧米のジャーナリズム関連イベントでは、セキュリティに関する講義が必ず開かれるようになっていく。何が変わったのか？

1. **Wikileaks/Panama Papers**：メガ・リークの時代の到来
2. **Snowden事件**：大量監視（mass surveillance）社会の到来
3. **リーク報道に対する捜査**：情報提供者と記者の保護の必要性

記者にとっての課題は3つあります。

1. **自分を守るため**：会社や取材先の情報を漏らしたりして、失職しない
2. **情報提供者を守るため**：決死の正義感で告発し、自分を信頼した人を絶対に守る
3. **不可能だったことを可能にするため**：完全匿名通信や巨大データの取得が可能になる

法律論・制度論を語ることが無意味だとは言わないが、現実を否定することはできない。

1. **通信の全量保存体制**：過去に遡ってすべてを検索できる
2. **行政府の電子化**：メール・庁舎出入り記録・監視カメラ（調査に令状不要）
3. **ビッグデータ社会**：車の通過記録（Nシステム、高速料金所）、CCTV画像など

報道固有の問題：「語るに落ちる」危険性

1. **写真**：撮影時間、場所などが分かる恐れ
2. **電子透かし**：追跡用透かしがある可能性
3. **Hoax（騙すための文書）**：信用失墜、メディア批評、実力試しの標的

Threat Modeling：国内の情報漏えい事故（2018年）は456件。すべての脅威を退ける魔法の杖はない。平場の取材しかしない記者と調査報道をする記者の課題は同じではない。**誰から何を守るのか**を想定して、対策を決める必要がある。

あくまでも基本的な対策として...

- すでにウイルスに感染していないか？
- 記者用パソコンの紛失・盗難対策
- 出張先でパソコン・携帯のupdateの禁止
- 仕事関係の連絡はできる限りSignal
- 取材でLINEやTwitter/Instagramは必要
- ただし、裏アカは原則的として禁止
- スマホの内部データアクセス権限の再確認
- iCloudで電話帳の同期は禁止・データ削除
- パスワード管理の見直し（アプリの活用など）
- 組織として定期的な研修

欧米のジャーナリズム関連イベントでは、セキュリティに関する講義が必ず開かれるようになっていく。何が変わったのか？

1. **Wikileaks/Panama Papers**：メガ・リークの時代の到来
2. **Snowden事件**：大量監視（mass surveillance）社会の到来
3. **リーク報道に対する捜査**：情報提供者と記者の保護の必要性

記者にとっての課題は3つあります。

1. **自分を守るため**：会社や取材先の情報を漏らしたりして、失職しない
2. **情報提供者を守るため**：決死の正義感で告発し、自分を信頼した人を絶対に守る
3. **不可能だったことを可能にするため**：完全匿名通信や巨大データの取得が可能になる

法律論・制度論を語ることが無意味だとは言わないが、現実を否定することはできない。

1. **通信の全量保存体制**：過去に遡ってすべてを検索できる
2. **行政府の電子化**：メール・庁舎出入り記録・監視カメラ（調査に令状不要）
3. **ビッグデータ社会**：車の通過記録（Nシステム、高速料金所）、CCTV画像など

報道固有の問題：「語るに落ちる」危険性

1. **写真**：撮影時間、場所などが分かる恐れ
2. **電子透かし**：追跡用透かしがある可能性
3. **Hoax（騙すための文書）**：信用失墜、メディア批評、実力試しの標的

Threat Modeling：国内の情報漏えい事故（2018年）は409件。すべての脅威を退ける魔法の杖はない。平場の取材しかしない記者と調査報道をする記者の課題は同じではない。**誰から何を守るのか**を想定して、対策を決める必要がある。

あくまでも基本的な対策として...

- すでにウイルスに感染していないか？
- 記者用パソコンの紛失・盗難対策
- 出張先でパソコン・携帯のupdateの禁止
- 仕事関係の連絡はできる限りSignal
- 取材でLINEやTwitter/Instagramは必要
- ただし、裏アカは原則的として禁止
- スマホの内部データアクセス権限の再確認
- iCloudで電話帳の同期は禁止・データ削除
- パスワード管理の見直し（アプリの活用など）
- 組織として定期的な研修

欧米のジャーナリズム関連イベントでは、セキュリティに関する講義が必ず開かれるようになっていく。何が変わったのか？

1. **Wikileaks/Panama Papers**：メガ・リークの時代の到来
2. **Snowden事件**：大量監視（mass surveillance）社会の到来
3. **リーク報道に対する捜査**：情報提供者と記者の保護の必要性

記者にとっての課題は3つあります。

1. **自分を守るため**：会社や取材先の情報を漏らしたりして、失職しない
2. **情報提供者を守るため**：決死の正義感で告発し、自分を信頼した人を絶対に守る
3. **不可能だったことを可能にするため**：完全匿名通信や巨大データの取得が可能になる

法律論・制度論を語ることが無意味だとは言わないが、現実を否定することはできない。

1. **通信の全量保存体制**：過去に遡ってすべてを検索できる
2. **行政府の電子化**：メール・庁舎出入り記録・監視カメラ（調査に令状不要）
3. **ビッグデータ社会**：車の通過記録（Nシステム、高速料金所）、CCTV画像など

報道固有の問題：「語るに落ちる」危険性

1. **写真**：撮影時間、場所などが分かる恐れ
2. **電子透かし**：追跡用透かしがある可能性
3. **Hoax（騙すための文書）**：信用失墜、メディア批評、実力試しの標的

Threat Modeling：国内の情報漏えい事故（2018年）は475件。すべての脅威を退ける魔法の杖はない。平場の取材しかしない記者と調査報道をする記者の課題は同じではない。**誰から何を守るのか**を想定して、対策を決める必要がある。

あくまでも基本的な対策として...

- すでにウイルスに感染していないか？
- 記者用パソコンの紛失・盗難対策
- 出張先でパソコン・携帯のupdateの禁止
- 仕事関係の連絡はできる限りSignal
- 取材でLINEやTwitter/Instagramは必要
- ただし、裏アカは原則的として禁止
- スマホの内部データアクセス権限の再確認
- iCloudで電話帳の同期は禁止・データ削除
- パスワード管理の見直し（アプリの活用など）
- 組織として定期的な研修

欧米のジャーナリズム関連イベントでは、セキュリティに関する講義が必ず開かれるようになっていく。何が変わったのか？

1. **Wikileaks/Panama Papers**：メガ・リークの時代の到来
2. **Snowden事件**：大量監視（mass surveillance）社会の到来
3. **リーク報道に対する捜査**：情報提供者と記者の保護の必要性

記者にとっての課題は3つあります。

1. **自分を守るため**：会社や取材先の情報を漏らしたりして、失職しない
2. **情報提供者を守るため**：決死の正義感で告発し、自分を信頼した人を絶対を守る
3. **不可能だったことを可能にするため**：完全匿名通信や巨大データの取得が可能になる

法律論・制度論を語ることが無意味だとは言わないが、現実を否定することはできない。

1. **通信の全量保存体制**：過去に遡ってすべてを検索できる
2. **行政府の電子化**：メール・庁舎出入り記録・監視カメラ（調査に令状不要）
3. **ビッグデータ社会**：車の通過記録（Nシステム、高速料金所）、CCTV画像など

報道固有の問題：「語るに落ちる」危険性

1. **写真**：撮影時間、場所などが分かる恐れ
2. **電子透かし**：追跡用透かしがある可能性
3. **Hoax（騙すための文書）**：信用失墜、メディア批評、実力試しの標的

Threat Modeling：国内の情報漏えい事故（2018年）は457件。すべての脅威を退ける魔法の杖はない。平場の取材しかしない記者と調査報道をする記者の課題は同じではない。**誰から何を守るのか**を想定して、対策を決める必要がある。

あくまでも基本的な対策として...

- すでにウイルスに感染していないか？
- 記者用パソコンの紛失・盗難対策
- 出張先でパソコン・携帯のupdateの禁止
- 仕事関係の連絡はできる限りSignal
- 取材でLINEやTwitter/Instagramは必要
- ただし、裏アカは原則的として禁止
- スマホの内部データアクセス権限の再確認
- iCloudで電話帳の同期は禁止・データ削除
- パスワード管理の見直し（アプリの活用など）
- 組織として定期的な研修

欧米のジャーナリズム関連イベントでは、セキュリティに関する講義が必ず開かれるようになっていく。何が変わったのか？

1. **Wikileaks/Panama Papers**：メガ・リークの時代の到来
2. **Snowden事件**：大量監視（mass surveillance）社会の到来
3. **リーク報道に対する捜査**：情報提供者と記者の保護の必要性

記者にとっての課題は3つあります。

1. **自分を守るため**：会社や取材先の情報を漏らしたりして、失職しない
2. **情報提供者を守るため**：決死の正義感で告発し、自分を信頼した人を絶対に守る
3. **不可能だったことを可能にするため**：完全匿名通信や巨大データの取得が可能になる

法律論・制度論を語ることが無意味だとは言わないが、現実を否定することはできない。

1. **通信の全量保存体制**：過去に遡ってすべてを検索できる
2. **行政府の電子化**：メール・庁舎出入り記録・監視カメラ（調査に令状不要）
3. **ビッグデータ社会**：車の通過記録（Nシステム、高速料金所）、CCTV画像など

報道固有の問題：「語るに落ちる」危険性

1. **写真**：撮影時間、場所などが分かる恐れ
2. **電子透かし**：追跡用透かしがある可能性
3. **Hoax（騙すための文書）**：信用失墜、メディア批評、実力試しの標的

Threat Modeling：国内の情報漏えい事故（2018年）は458件。すべての脅威を退ける魔法の杖はない。平場の取材しかしない記者と調査報道をする記者の課題は同じではない。**誰から何を守るのか**を想定して、対策を決める必要がある。

あくまでも基本的な対策として...

- すでにウイルスに感染していないか？
- 記者用パソコンの紛失・盗難対策
- 出張先でパソコン・携帯のupdateの禁止
- 仕事関係の連絡はできる限りSignal
- 取材でLINEやTwitter/Instagramは必要
- ただし、裏アカは原則的として禁止
- スマホの内部データアクセス権限の再確認
- iCloudで電話帳の同期は禁止・データ削除
- パスワード管理の見直し（アプリの活用など）
- 組織として定期的な研修

欧米のジャーナリズム関連イベントでは、セキュリティに関する講義が必ず開かれるようになっていく。何が変わったのか？

1. **Wikileaks/Panama Papers**：メガ・リークの時代の到来
2. **Snowden事件**：大量監視（mass surveillance）社会の到来
3. **リーク報道に対する捜査**：情報提供者と記者の保護の必要性

記者にとっての課題は3つあります。

1. **自分を守るため**：会社や取材先の情報を漏らしたりして、失職しない
2. **情報提供者を守るため**：決死の正義感で告発し、自分を信頼した人を絶対を守る
3. **不可能だったことを可能にするため**：完全匿名通信や巨大データの取得が可能になる

法律論・制度論を語ることが無意味だとは言わないが、現実を否定することはできない。

1. **通信の全量保存体制**：過去に遡ってすべてを検索できる
2. **行政府の電子化**：メール・庁舎出入り記録・監視カメラ（調査に令状不要）
3. **ビッグデータ社会**：車の通過記録（Nシステム、高速料金所）、CCTV画像など

報道固有の問題：「語るに落ちる」危険性

1. **写真**：撮影時間、場所などが分かる恐れ
2. **電子透かし**：追跡用透かしがある可能性
3. **Hoax（騙すための文書）**：信用失墜、メディア批評、実力試しの標的

Threat Modeling：国内の情報漏えい事故（2018年）は466件。すべての脅威を退ける魔法の杖はない。平場の取材しかしない記者と調査報道をする記者の課題は同じではない。**誰から何を守るのか**を想定して、対策を決める必要がある。

あくまでも基本的な対策として...

- すでにウイルスに感染していないか？
- 記者用パソコンの紛失・盗難対策
- 出張先でパソコン・携帯のupdateの禁止
- 仕事関係の連絡はできる限りSignal
- 取材でLINEやTwitter/Instagramは必要
- ただし、裏アカは原則的として禁止
- スマホの内部データアクセス権限の再確認
- iCloudで電話帳の同期は禁止・データ削除
- パスワード管理の見直し（アプリの活用など）
- 組織として定期的な研修



欧米のジャーナリズム関連イベントでは、セキュリティに関する講義が必ず開かれるようになっていく。何が変わったのか？

1. **Wikileaks/Panama Papers**：メガ・リークの時代の到来
2. **Snowden事件**：大量監視（mass surveillance）社会の到来
3. **リーク報道に対する捜査**：情報提供者と記者の保護の必要性

記者にとっての課題は3つあります。

1. **自分を守るため**：会社や取材先の情報を漏らしたりして、失職しない
2. **情報提供者を守るため**：決死の正義感で告発し、自分を信頼した人を絶対を守る
3. **不可能だったことを可能にするため**：完全匿名通信や巨大データの取得が可能になる

法律論・制度論を語ることが無意味だとは言わないが、現実を否定することはできない。

1. **通信の全量保存体制**：過去に遡ってすべてを検索できる
2. **行政府の電子化**：メール・庁舎出入り記録・監視カメラ（調査に令状不要）
3. **ビッグデータ社会**：車の通過記録（Nシステム、高速料金所）、CCTV画像など

報道固有の問題：「語るに落ちる」危険性

1. **写真**：撮影時間、場所などが分かる恐れ
2. **電子透かし**：追跡用透かしがある可能性
3. **Hoax（騙すための文書）**：信用失墜、メディア批評、実力試しの標的

Threat Modeling：国内の情報漏えい事故（2018年）は448件。すべての脅威を退ける魔法の杖はない。平場の取材しかしない記者と調査報道をする記者の課題は同じではない。**誰から何を守るのか**を想定して、対策を決める必要がある。

あくまでも基本的な対策として...

- すでにウイルスに感染していないか？
- 記者用パソコンの紛失・盗難対策
- 出張先でパソコン・携帯のupdateの禁止
- 仕事関係の連絡はできる限りSignal
- 取材でLINEやTwitter/Instagramは必要
- ただし、裏アカは原則的として禁止
- スマホの内部データアクセス権限の再確認
- iCloudで電話帳の同期は禁止・データ削除
- パスワード管理の見直し（アプリの活用など）
- 組織として定期的な研修

欧米のジャーナリズム関連イベントでは、セキュリティに関する講義が必ず開かれるようになっていく。何が変わったのか？

1. **Wikileaks/Panama Papers**：メガ・リークの時代の到来
2. **Snowden事件**：大量監視（mass surveillance）社会の到来
3. **リーク報道に対する捜査**：情報提供者と記者の保護の必要性

記者にとっての課題は3つあります。

1. **自分を守るため**：会社や取材先の情報を漏らしたりして、失職しない
2. **情報提供者を守るため**：決死の正義感で告発し、自分を信頼した人を絶対に守る
3. **不可能だったことを可能にするため**：完全匿名通信や巨大データの取得が可能になる

法律論・制度論を語ることが無意味だとは言わないが、現実を否定することはできない。

1. **通信の全量保存体制**：過去に遡ってすべてを検索できる
2. **行政府の電子化**：メール・庁舎出入り記録・監視カメラ（調査に令状不要）
3. **ビッグデータ社会**：車の通過記録（Nシステム、高速料金所）、CCTV画像など

報道固有の問題：「語るに落ちる」危険性

1. **写真**：撮影時間、場所などが分かる恐れ
2. **電子透かし**：追跡用透かしがある可能性
3. **Hoax（騙すための文書）**：信用失墜、メディア批評、実力試しの標的

Threat Modeling：国内の情報漏えい事故（2018年）は422件。すべての脅威を退ける魔法の杖はない。平場の取材しかしない記者と調査報道をする記者の課題は同じではない。**誰から何を守るのか**を想定して、対策を決める必要がある。

あくまでも基本的な対策として...

- すでにウイルスに感染していないか？
- 記者用パソコンの紛失・盗難対策
- 出張先でパソコン・携帯のupdateの禁止
- 仕事関係の連絡はできる限りSignal
- 取材でLINEやTwitter/Instagramは必要
- ただし、裏アカは原則的として禁止
- スマホの内部データアクセス権限の再確認
- iCloudで電話帳の同期は禁止・データ削除
- パスワード管理の見直し（アプリの活用など）
- 組織として定期的な研修

欧米のジャーナリズム関連イベントでは、セキュリティに関する講義が必ず開かれるようになっていく。何が変わったのか？

1. **Wikileaks/Panama Papers**：メガ・リークの時代の到来
2. **Snowden事件**：大量監視（mass surveillance）社会の到来
3. **リーク報道に対する捜査**：情報提供者と記者の保護の必要性

記者にとっての課題は3つあります。

1. **自分を守るため**：会社や取材先の情報を漏らしたりして、失職しない
2. **情報提供者を守るため**：決死の正義感で告発し、自分を信頼した人を絶対に守る
3. **不可能だったことを可能にするため**：完全匿名通信や巨大データの取得が可能になる

法律論・制度論を語ることが無意味だとは言わないが、現実を否定することはできない。

1. **通信の全量保存体制**：過去に遡ってすべてを検索できる
2. **行政府の電子化**：メール・庁舎出入り記録・監視カメラ（調査に令状不要）
3. **ビッグデータ社会**：車の通過記録（Nシステム、高速料金所）、CCTV画像など

報道固有の問題：「語るに落ちる」危険性

1. **写真**：撮影時間、場所などが分かる恐れ
2. **電子透かし**：追跡用透かしがある可能性
3. **Hoax（騙すための文書）**：信用失墜、メディア批評、実力試しの標的

Threat Modeling：国内の情報漏えい事故（2018年）は465件。すべての脅威を退ける魔法の杖はない。平場の取材しかしない記者と調査報道をする記者の課題は同じではない。**誰から何を守るのか**を想定して、対策を決める必要がある。

あくまでも基本的な対策として...

- すでにウイルスに感染していないか？
- 記者用パソコンの紛失・盗難対策
- 出張先でパソコン・携帯のupdateの禁止
- 仕事関係の連絡はできる限りSignal
- 取材でLINEやTwitter/Instagramは必要
- ただし、裏アカは原則的として禁止
- スマホの内部データアクセス権限の再確認
- iCloudで電話帳の同期は禁止・データ削除
- パスワード管理の見直し（アプリの活用など）
- 組織として定期的な研修

欧米のジャーナリズム関連イベントでは、セキュリティに関する講義が必ず開かれるようになっていく。何が変わったのか？

1. **Wikileaks/Panama Papers**：メガ・リークの時代の到来
2. **Snowden事件**：大量監視（mass surveillance）社会の到来
3. **リーク報道に対する捜査**：情報提供者と記者の保護の必要性

記者にとっての課題は3つあります。

1. **自分を守るため**：会社や取材先の情報を漏らしたりして、失職しない
2. **情報提供者を守るため**：決死の正義感で告発し、自分を信頼した人を絶対に守る
3. **不可能だったことを可能にするため**：完全匿名通信や巨大データの取得が可能になる

法律論・制度論を語ることが無意味だとは言わないが、現実を否定することはできない。

1. **通信の全量保存体制**：過去に遡ってすべてを検索できる
2. **行政府の電子化**：メール・庁舎出入り記録・監視カメラ（調査に令状不要）
3. **ビッグデータ社会**：車の通過記録（Nシステム、高速料金所）、CCTV画像など

報道固有の問題：「語るに落ちる」危険性

1. **写真**：撮影時間、場所などが分かる恐れ
2. **電子透かし**：追跡用透かしがある可能性
3. **Hoax（騙すための文書）**：信用失墜、メディア批評、実力試しの標的

Threat Modeling：国内の情報漏えい事故（2018年）は453件。すべての脅威を退ける魔法の杖はない。平場の取材しかしない記者と調査報道をする記者の課題は同じではない。**誰から何を守るのか**を想定して、対策を決める必要がある。

あくまでも基本的な対策として...

- すでにウイルスに感染していないか？
- 記者用パソコンの紛失・盗難対策
- 出張先でパソコン・携帯のupdateの禁止
- 仕事関係の連絡はできる限りSignal
- 取材でLINEやTwitter/Instagramは必要
- ただし、裏アカは原則的として禁止
- スマホの内部データアクセス権限の再確認
- iCloudで電話帳の同期は禁止・データ削除
- パスワード管理の見直し（アプリの活用など）
- 組織として定期的な研修

欧米のジャーナリズム関連イベントでは、セキュリティに関する講義が必ず開かれるようになっていく。何が変わったのか？

1. **Wikileaks/Panama Papers**：メガ・リークの時代の到来
2. **Snowden事件**：大量監視（mass surveillance）社会の到来
3. **リーク報道に対する捜査**：情報提供者と記者の保護の必要性

記者にとっての課題は3つあります。

1. **自分を守るため**：会社や取材先の情報を漏らしたりして、失職しない
2. **情報提供者を守るため**：決死の正義感で告発し、自分を信頼した人を絶対に守る
3. **不可能だったことを可能にするため**：完全匿名通信や巨大データの取得が可能になる

法律論・制度論を語ることが無意味だとは言わないが、現実を否定することはできない。

1. **通信の全量保存体制**：過去に遡ってすべてを検索できる
2. **行政府の電子化**：メール・庁舎出入り記録・監視カメラ（調査に令状不要）
3. **ビッグデータ社会**：車の通過記録（Nシステム、高速料金所）、CCTV画像など

報道固有の問題：「語るに落ちる」危険性

1. **写真**：撮影時間、場所などが分かる恐れ
2. **電子透かし**：追跡用透かしがある可能性
3. **Hoax（騙すための文書）**：信用失墜、メディア批評、実力試しの標的

Threat Modeling：国内の情報漏えい事故（2018年）は450件。すべての脅威を退ける魔法の杖はない。平場の取材しかしない記者と調査報道をする記者の課題は同じではない。**誰から何を守るのか**を想定して、対策を決める必要がある。

あくまでも基本的な対策として...

- すでにウイルスに感染していないか？
- 記者用パソコンの紛失・盗難対策
- 出張先でパソコン・携帯のupdateの禁止
- 仕事関係の連絡はできる限りSignal
- 取材でLINEやTwitter/Instagramは必要
- ただし、裏アカは原則的として禁止
- スマホの内部データアクセス権限の再確認
- iCloudで電話帳の同期は禁止・データ削除
- パスワード管理の見直し（アプリの活用など）
- 組織として定期的な研修

欧米のジャーナリズム関連イベントでは、セキュリティに関する講義が必ず開かれるようになっていく。何が変わったのか？

1. **Wikileaks/Panama Papers**：メガ・リークの時代の到来
2. **Snowden事件**：大量監視（mass surveillance）社会の到来
3. **リーク報道に対する捜査**：情報提供者と記者の保護の必要性

記者にとっての課題は3つあります。

1. **自分を守るため**：会社や取材先の情報を漏らしたりして、失職しない
2. **情報提供者を守るため**：決死の正義感で告発し、自分を信頼した人を絶対に守る
3. **不可能だったことを可能にするため**：完全匿名通信や巨大データの取得が可能になる

法律論・制度論を語ることが無意味だとは言わないが、現実を否定することはできない。

1. **通信の全量保存体制**：過去に遡ってすべてを検索できる
2. **行政府の電子化**：メール・庁舎出入り記録・監視カメラ（調査に令状不要）
3. **ビッグデータ社会**：車の通過記録（Nシステム、高速料金所）、CCTV画像など

報道固有の問題：「語るに落ちる」危険性

1. **写真**：撮影時間、場所などが分かる恐れ
2. **電子透かし**：追跡用透かしがある可能性
3. **Hoax（騙すための文書）**：信用失墜、メディア批評、実力試しの標的

Threat Modeling：国内の情報漏えい事故（2018年）は403件。すべての脅威を退ける魔法の杖はない。平場の取材しかしない記者と調査報道をする記者の課題は同じではない。**誰から何を守るのか**を想定して、対策を決める必要がある。

あくまでも基本的な対策として...

- すでにウイルスに感染していないか？
- 記者用パソコンの紛失・盗難対策
- 出張先でパソコン・携帯のupdateの禁止
- 仕事関係の連絡はできる限りSignal
- 取材でLINEやTwitter/Instagramは必要
- ただし、裏アカは原則的として禁止
- スマホの内部データアクセス権限の再確認
- iCloudで電話帳の同期は禁止・データ削除
- パスワード管理の見直し（アプリの活用など）
- 組織として定期的な研修

欧米のジャーナリズム関連イベントでは、セキュリティに関する講義が必ず開かれるようになっていく。何が変わったのか？

1. **Wikileaks/Panama Papers**：メガ・リークの時代の到来
2. **Snowden事件**：大量監視（mass surveillance）社会の到来
3. **リーク報道に対する捜査**：情報提供者と記者の保護の必要性

記者にとっての課題は3つあります。

1. **自分を守るため**：会社や取材先の情報を漏らしたりして、失職しない
2. **情報提供者を守るため**：決死の正義感で告発し、自分を信頼した人を絶対に守る
3. **不可能だったことを可能にするため**：完全匿名通信や巨大データの取得が可能になる

法律論・制度論を語ることが無意味だとは言わないが、現実を否定することはできない。

1. **通信の全量保存体制**：過去に遡ってすべてを検索できる
2. **行政府の電子化**：メール・庁舎出入り記録・監視カメラ（調査に令状不要）
3. **ビッグデータ社会**：車の通過記録（Nシステム、高速料金所）、CCTV画像など

報道固有の問題：「語るに落ちる」危険性

1. **写真**：撮影時間、場所などが分かる恐れ
2. **電子透かし**：追跡用透かしがある可能性
3. **Hoax（騙すための文書）**：信用失墜、メディア批評、実力試しの標的

Threat Modeling：国内の情報漏えい事故（2018年）は384件。すべての脅威を退ける魔法の杖はない。平場の取材しかしない記者と調査報道をする記者の課題は同じではない。**誰から何を守るのか**を想定して、対策を決める必要がある。

あくまでも基本的な対策として...

- すでにウイルスに感染していないか？
- 記者用パソコンの紛失・盗難対策
- 出張先でパソコン・携帯のupdateの禁止
- 仕事関係の連絡はできる限りSignal
- 取材でLINEやTwitter/Instagramは必要
- ただし、裏アカは原則的として禁止
- スマホの内部データアクセス権限の再確認
- iCloudで電話帳の同期は禁止・データ削除
- パスワード管理の見直し（アプリの活用など）
- 組織として定期的な研修

欧米のジャーナリズム関連イベントでは、セキュリティに関する講義が必ず開かれるようになっていく。何が変わったのか？

1. **Wikileaks/Panama Papers**：メガ・リークの時代の到来
2. **Snowden事件**：大量監視（mass surveillance）社会の到来
3. **リーク報道に対する捜査**：情報提供者と記者の保護の必要性

記者にとっての課題は3つあります。

1. **自分を守るため**：会社や取材先の情報を漏らしたりして、失職しない
2. **情報提供者を守るため**：決死の正義感で告発し、自分を信頼した人を絶対に守る
3. **不可能だったことを可能にするため**：完全匿名通信や巨大データの取得が可能になる

法律論・制度論を語ることが無意味だとは言わないが、現実を否定することはできない。

1. **通信の全量保存体制**：過去に遡ってすべてを検索できる
2. **行政府の電子化**：メール・庁舎出入り記録・監視カメラ（調査に令状不要）
3. **ビッグデータ社会**：車の通過記録（Nシステム、高速料金所）、CCTV画像など

報道固有の問題：「語るに落ちる」危険性

1. **写真**：撮影時間、場所などが分かる恐れ
2. **電子透かし**：追跡用透かしがある可能性
3. **Hoax（騙すための文書）**：信用失墜、メディア批評、実力試しの標的

Threat Modeling：国内の情報漏えい事故（2018年）は507件。すべての脅威を退ける魔法の杖はない。平場の取材しかしない記者と調査報道をする記者の課題は同じではない。**誰から何を守るのか**を想定して、対策を決める必要がある。

あくまでも基本的な対策として...

- すでにウイルスに感染していないか？
- 記者用パソコンの紛失・盗難対策
- 出張先でパソコン・携帯のupdateの禁止
- 仕事関係の連絡はできる限りSignal
- 取材でLINEやTwitter/Instagramは必要
- ただし、裏アカは原則的として禁止
- スマホの内部データアクセス権限の再確認
- iCloudで電話帳の同期は禁止・データ削除
- パスワード管理の見直し（アプリの活用など）
- 組織として定期的な研修



欧米のジャーナリズム関連イベントでは、セキュリティに関する講義が必ず開かれるようになっていく。何が変わったのか？

1. **Wikileaks/Panama Papers**：メガ・リークの時代の到来
2. **Snowden事件**：大量監視（mass surveillance）社会の到来
3. **リーク報道に対する捜査**：情報提供者と記者の保護の必要性

記者にとっての課題は3つあります。

1. **自分を守るため**：会社や取材先の情報を漏らしたりして、失職しない
2. **情報提供者を守るため**：決死の正義感で告発し、自分を信頼した人を絶対を守る
3. **不可能だったことを可能にするため**：完全匿名通信や巨大データの取得が可能になる

法律論・制度論を語ることが無意味だとは言わないが、現実を否定することはできない。

1. **通信の全量保存体制**：過去に遡ってすべてを検索できる
2. **行政府の電子化**：メール・庁舎出入り記録・監視カメラ（調査に令状不要）
3. **ビッグデータ社会**：車の通過記録（Nシステム、高速料金所）、CCTV画像など

報道固有の問題：「語るに落ちる」危険性

1. **写真**：撮影時間、場所などが分かる恐れ
2. **電子透かし**：追跡用透かしがある可能性
3. **Hoax（騙すための文書）**：信用失墜、メディア批評、実力試しの標的

Threat Modeling：国内の情報漏えい事故（2018年）は452件。すべての脅威を退ける魔法の杖はない。平場の取材しかしない記者と調査報道をする記者の課題は同じではない。**誰から何を守るのか**を想定して、対策を決める必要がある。

あくまでも基本的な対策として...

- すでにウイルスに感染していないか？
- 記者用パソコンの紛失・盗難対策
- 出張先でパソコン・携帯のupdateの禁止
- 仕事関係の連絡はできる限りSignal
- 取材でLINEやTwitter/Instagramは必要
- ただし、裏アカは原則的として禁止
- スマホの内部データアクセス権限の再確認
- iCloudで電話帳の同期は禁止・データ削除
- パスワード管理の見直し（アプリの活用など）
- 組織として定期的な研修

欧米のジャーナリズム関連イベントでは、セキュリティに関する講義が必ず開かれるようになっていく。何が変わったのか？

1. **Wikileaks/Panama Papers**：メガ・リークの時代の到来
2. **Snowden事件**：大量監視（mass surveillance）社会の到来
3. **リーク報道に対する捜査**：情報提供者と記者の保護の必要性

記者にとっての課題は3つあります。

1. **自分を守るため**：会社や取材先の情報を漏らしたりして、失職しない
2. **情報提供者を守るため**：決死の正義感で告発し、自分を信頼した人を絶対に守る
3. **不可能だったことを可能にするため**：完全匿名通信や巨大データの取得が可能になる

法律論・制度論を語ることが無意味だとは言わないが、現実を否定することはできない。

1. **通信の全量保存体制**：過去に遡ってすべてを検索できる
2. **行政府の電子化**：メール・庁舎出入り記録・監視カメラ（調査に令状不要）
3. **ビッグデータ社会**：車の通過記録（Nシステム、高速料金所）、CCTV画像など

報道固有の問題：「語るに落ちる」危険性

1. **写真**：撮影時間、場所などが分かる恐れ
2. **電子透かし**：追跡用透かしがある可能性
3. **Hoax（騙すための文書）**：信用失墜、メディア批評、実力試しの標的

Threat Modeling：国内の情報漏えい事故（2018年）は487件。すべての脅威を退ける魔法の杖はない。平場の取材しかしない記者と調査報道をする記者の課題は同じではない。**誰から何を守るのか**を想定して、対策を決める必要がある。

あくまでも基本的な対策として...

- すでにウイルスに感染していないか？
- 記者用パソコンの紛失・盗難対策
- 出張先でパソコン・携帯のupdateの禁止
- 仕事関係の連絡はできる限りSignal
- 取材でLINEやTwitter/Instagramは必要
- ただし、裏アカは原則的として禁止
- スマホの内部データアクセス権限の再確認
- iCloudで電話帳の同期は禁止・データ削除
- パスワード管理の見直し（アプリの活用など）
- 組織として定期的な研修

欧米のジャーナリズム関連イベントでは、セキュリティに関する講義が必ず開かれるようになっていく。何が変わったのか？

1. **Wikileaks/Panama Papers**：メガ・リークの時代の到来
2. **Snowden事件**：大量監視（mass surveillance）社会の到来
3. **リーク報道に対する捜査**：情報提供者と記者の保護の必要性

記者にとっての課題は3つあります。

1. **自分を守るため**：会社や取材先の情報を漏らしたりして、失職しない
2. **情報提供者を守るため**：決死の正義感で告発し、自分を信頼した人を絶対を守る
3. **不可能だったことを可能にするため**：完全匿名通信や巨大データの取得が可能になる

法律論・制度論を語ることが無意味だとは言わないが、現実を否定することはできない。

1. **通信の全量保存体制**：過去に遡ってすべてを検索できる
2. **行政府の電子化**：メール・庁舎出入り記録・監視カメラ（調査に令状不要）
3. **ビッグデータ社会**：車の通過記録（Nシステム、高速料金所）、CCTV画像など

報道固有の問題：「語るに落ちる」危険性

1. **写真**：撮影時間、場所などが分かる恐れ
2. **電子透かし**：追跡用透かしがある可能性
3. **Hoax（騙すための文書）**：信用失墜、メディア批評、実力試しの標的

Threat Modeling：国内の情報漏えい事故（2018年）は460件。すべての脅威を退ける魔法の杖はない。平場の取材しかしない記者と調査報道をする記者の課題は同じではない。**誰から何を守るのか**を想定して、対策を決める必要がある。

あくまでも基本的な対策として...

- すでにウイルスに感染していないか？
- 記者用パソコンの紛失・盗難対策
- 出張先でパソコン・携帯のupdateの禁止
- 仕事関係の連絡はできる限りSignal
- 取材でLINEやTwitter/Instagramは必要
- ただし、裏アカは原則的として禁止
- スマホの内部データアクセス権限の再確認
- iCloudで電話帳の同期は禁止・データ削除
- パスワード管理の見直し（アプリの活用など）
- 組織として定期的な研修